新京日日新聞
夕刊
十月十五日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五十錢（郵税）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

疾風の上陸部隊 早くも惠州占領

午後二時大本營陸軍部發表

【東京國通】大本營陸軍部十五日午後二時發表

一、上陸部隊の追擊は猛烈を極め各部隊の不眠不休の努力により十四日夕概ね東江々岸に到着し惠州城に對し東方及び南方より猛攻擊を行ひ十五日早朝完全に之を占領せり

一、十四日夜熱帶特有の豪雨沛然として降り行動に困難を來したるも將兵の士氣旺盛なり

陸の荒鷲 軍用車を猛爆

【〇〇十四日發國通】敵は信陽陷落後我軍が南下一擧に武漢を衝くのをおそれ漢口方面より依然として湖北、河南省境附近に兵力を北上せしめつゝあるが、これらの增援部隊を粉碎すべくわが陸の荒鷲田中部隊は十四日午後三時田中大尉自ら指揮して兩省々境の要害武勝關の上空に飛び四百五十輛の貨車群に對して徹底的爆擊を行つた

海軍航空隊廣東省各地を爆擊

【香港十四日發國通】わが海軍機は十四日も前日に引續き廣東省各地を爆擊した、粤漢線爆擊に向つた部隊は英德、源潭、樂昌、潖江口等を、また廣九線爆擊部隊は石龍、樟木頭、平洲等を猛爆、また他の一隊は惠州を襲ひ爆彈百數十を投下全城に火災を起さしめた

湖南駐屯一部隊に 廣東出動を命令

總司令部を樟木頭に設置

【香港十四日發國通】確報によれば、余漢謀より援軍急派の要請に接した蔣介石は廣東方面の形勢を極めて重大視し十三日正午張治中麾下の湖南駐屯豫備兵團の一部に對し即時廣東出動を命じ、右兵團は甘禮初の九十三師を先頭にすでに粤漢線により南下を開始したといはれる、右兵團は元來蔣介石が武漢陷落に於る湖南防衛に備へてゐたもので今回の出動は蔣にとり湖南省防衛作戰上非常な缺陷となるものとみられる、要するに支那側は廣東、廣西兩省はもとより湖南、湖北、江西の各戰區を通じ根本的に陣容建直しの要に迫られ兵力の大規模な移動を開始したのであるが、これを顧みこれを失ふ用兵の混亂から今や武漢の防衛作戰は一頓挫を來すに至つたとみるべきである

【香港十四日發國通】確報によれば、東江方面軍總司令李振球は十三日夜樟木頭に出動同地に總司令部をおいて指揮をとりつゝあり、一方惠州にあつた莫希德は自ら陣頭に立つてわが軍の猛進擊に對し必死の抵抗を試みてゐる、しかして支那側は連日惠州および廣九線方面に向つて兵力を移動中で、張瑞貴の第百五十三師の一部はすでに廣九線樟木頭に集結、鐵道線路の西南方に展開中といはれるが、兵力著しく不足し且つ皇軍に機先を制せられ狼狽を極めてをり目下自衛隊を總動員し農民を强制的に徵發して東江北岸に塹壕陣地を構築しつゝある

廣九線方面の 武器軍需品輸送杜絶

【香港十四日發國通】十三日夜九龍を出發した廣東行トラック五十臺は國境深圳に於て立往生となり十四日午後再び九龍に引返して來た、このトラック隊は支那側が廣東に軍需品を輸送せんとしたものであるが、これで愈々廣九線方面の武器軍需品輸送は最早全く杜絶するに至つたことが立證された

漢口作戰實況を A・K現地放送 愈よ來る十八日夜から實施

【東京國通】日本放送局では曩に徐州會戰の際に前線放送を試み又上海を通じて廬山戰況等皇軍の奮戰振りの實況放送を行ひ銃後國民の血を躍らせたが、更に目前に迫る武漢攻略に備へて前線からの放送を計畫準備中のところ愈々來る十八日夜から之を實施することになつた、これがため協會から派遣された技術員は既に最前線地たる〇〇で機械設備を完了して調整を急ぎつゝあり、重任を擔つて現地放送を行ふA・Kの中村、淺沼兩アナウンサーも現地に到着、萬端の準備を整へ緊張裡に待機中である、右の放送日時は當分の中毎週火、木、土の三日とし午後七時十五分から十分間の豫定で、內地はもとより朝鮮、臺灣及び滿洲にも中繼することゝなつてゐる

信陽西方で 敗敵を反復爆擊

―大本營陸軍部發表―

【東京國通】大本營陸軍部十四日午後五時半發表＝十三日惡天候を冒して信陽方面爆擊に向ひたる〇〇部隊の〇〇機は午後零時十分、同二時十分同三時半の三回出動し順河店（信陽西方五十キロ）小林店（桐柏東方卅キロ）および金橋（桐柏東方十キロ）附近を退却の敵の部隊および自動車百五十輛を反復爆擊しこれを潰亂せしめ甚大なる損害を與へたるが、その一機は高度六百米で爆擊中敵高射砲の一彈命中し右翼および右車輛大破せるもさらに爆擊を續行無事〇〇に歸還着陸せり

戰果

【〇〇十五日發國通】信陽の東正面より攻擊せるわが〇〇部隊が十一日中山舖占領より十二日朝信陽東門突入までに得たる戰果は次の如くである

敵の遺棄死體六百、捕虜九十七（その中將校三）鹵獲品 十二サンチ榴彈砲二、同砲彈五十六、機關銃三、輕機七、小銃五十、同彈藥四萬、手榴彈二百、山砲彈四百、地雷百

明窩腦占領

【張斗岳十四日發國通】十四日朝來の雨を冒し迄る大地を踏みしめて敗敵を急追中の北村部隊は明窩腦附近で頑強なる敵の抵抗に遭遇、激戰數刻の後午前十時過ぎ完全に同地を占領した

張福店南方高地を占領

【〇〇十五日發國通】去る九日敵の右翼陣地を突破して新店南方約三キロ張福店附近に進出したわが部隊は十四日午後三時五十分には張福店南方高地を占領し、その東方高地に向ひ戰果を擴張しつゝあるまた沙河南方においても同日午後一時六　四南方高地を完全に占領した

油頭停車場猛爆

【香港十四日發國通】支那側報道によれば、我航空部隊は十三日四回に亘つて油頭を爆擊、停車場、機關庫、車庫、レール等を猛爆停車場中の十數輛の列車も粉碎された

史上空前の 敵前上陸

―大本營海軍部發表―

【東京國通】大本營海軍報道部十四日午後五時發表

蔣政權の命脈に最後の斷案を下さんとするわが南方作戰はかねて海陸兩軍の緊密なる行動によつて着々その計畫を進めてゐたがいよいよその機熟して大輸送船隊に分乘せる陸の精銳は護衛艦隊の掩護のもとに〇〇を出發した、流石は海國日本を誇る海員だけあつて無慮〇〇隻の輸送船隊は船編隊行動振りを示し月光映ゆる南海に隊伍堂々十一日南支廣東省の沖合に到着した、之より先きすでに南支全海岸に制海權を掌握せる帝國海軍によつて各所の上陸豫定地點は精密に調査され萬端の準備が整へられてゐたので大輸送船隊到着後まづ直ちにバイアス灣に突入十二日未明を期して果敢なる敵前上陸を敢行した

この日南支の海は珍らしく波穩かで風なく加ふるに月光皎々と冴え天候狀態ほとんど天祐とも稱すべきコンディションに勇み立つた將兵は運送船から鐵舟に乘移りそれぞれ上陸に成功、第一線部隊の全部がほとんど敵の抵抗を受けず目的の彼岸に乘達した、同時に灣內に碇泊せる巡洋艦、驅逐艦の猛烈なる掩護射擊によつて各本部隊の大部が上陸を完成し殆んど豫想せざる奇襲に支那軍の度膽を拔いたのであつた、此間〇〇機の海軍機も朝風に輝く戰鬪旗を翻して敵陣營に爆彈の雨を降らし、又護衛艦隊旗艦〇〇も〇〇方面に主砲の一齊射擊を加へて掩護をなし一時砲聲殷々として海岸の山腹を震駭した、この海陸空完全なる共同作戰によつて味方は一兵の損傷なく史上空前の敵前上陸は成功し引續き上陸部隊は休む暇もなく沿岸の敵を一掃しつゝ前進破竹の勢をもつて殘敵を掃蕩し奧地に向け進擊中である、この度の作戰において名にし負ふ荒海の南支那海が終始穩かで波なく月皎々と照つてさながらわがこの作戰を掩護するかの如き狀態であつたのはひとへに神の加護によるものであると將兵一同感激しまた意を强くしてゐる、なほ今回の作戰は內地より數千浬の遠地において行動されたもので帝國海軍にとつても未曾有のことである

北部駝嶺を確保

【溢口街十四日發國通】北部駝嶺北半部を確保せる各部隊は引續き猛攻を續行三方よりする巧妙なる包圍攻擊效を奏し逐次南半部に向つて頑敵を驅逐、午後五時五十分これを一掃し完全に占領、敵の恃みとする駝嶺の堅陣も遂に北方地區はわが手中に掌握、さらに勇躍駝嶺最高峰に對して果敢なる戰鬪を挑みつゝある

漢口、武昌に 反蔣ビラ撒布

容疑者四十名捕はる

【上海十四日發國通】漢口より當地に達した情報によれば去る十日の双十節當日漢口市目拔きの後花樓通及び三分里一帶、武昌市の黃鶴樓東部一帶に多數の反蔣ビラを撒布したものがあり當局の手で直ちに容疑者四十名が逮捕されたがそのうち張少泉、陳雲平の二名は即刻銃殺されたといはれる

在外使臣報告

【北京十四日發國通】武漢陷落の運命やうやく迫らんとして潰滅への一路を辿る蔣政權內部において最近漸く抗日戰の前途に悲觀的見解を抱くものゝ續出し今後の動向を注目されてゐる、即ち最近のニューヨーク電によれば、支那人消息通間の情報として蔣政權在歐使臣が本國側に警告を寄せミュンヘン四ケ國協定成立の結果英佛獨伊は結局支那側の犧牲において媾和を要望し和平工作を進めるため漢口陷落とゝもに英佛は香港、佛領印度支那、ビルマよりする軍需品供給の途を漸次斷つものと豫想される旨を傳へてをり、さなきだに困難を豫想される抗日第四期戰における抗戰力は極度に低下するであらうと見てゐる、かゝる支那側情報は蔣政權の漢口喪失後における抗戰の困難と內部的な士氣沮喪の著しい事實を物語つてゐるものであらう

人事往來

着京

▲門脇武明氏（會社員）十四日來京ヤマトホテル ▲西條一治氏（同）同 ▲野中勝雄氏（同）同 ▲八東利敬氏（延和金鑛）國都ホテル ▲福渡文吾氏（商業）同 ▲後藤吉也氏（同）同 ▲高津宏氏（サクラビール）同 ▲池田忠雄氏（滿鐵社員）同 ▲石見之秀氏（土木建築）同 ▲橋本辰吾氏（會社員）同 ▲岡田實氏（請負業）同 ▲森田龍雄氏（日滿パルプ）同 ▲吉澤靈氏（機械工業）同 ▲鹽島廣次郎氏（官吏）ニューアジアホテル ▲工藤德之助氏（同）同 ▲鹽見佐三男氏（會社員）同 ▲福原幸一氏（同）同 ▲竹田秀三氏（商業）同 ▲平田佐吉氏（官吏）同 ▲森川昇二氏（會社員）滿蒙ホテル ▲神谷忠作氏（商業）同 ▲奧村四郎氏（昭和製鐵）同 ▲中山三郎氏（同）同 ▲永田英三氏（會社員）同 ▲菅谷市五郎氏（官吏）同 ▲秋元建二氏（航空會社）同 ▲羽泉清一郎氏（同）同 ▲佐藤半二氏（會社員）大都ホテル ▲藤原泰一氏（石炭商）同 ▲久米一氏（商業）同 ▲馬場良太氏（會社員）同 ▲森德一氏（官吏）中央ホテル ▲山元昇氏（技師）同 ▲中野應吾氏（會社員）同 ▲歌丸憲三郎氏（同）同 ▲田代仙義氏（赤十字社）同 ▲布施小十郎氏（同）同 ▲內藤一郎氏（會社員）同 ▲西尾時雄氏（同）同 ▲野田缺九郎氏（官吏）蓬萊ホテル ▲安藤一雄氏（同）同 ▲多久島弘氏（請負業）富士屋旅館 ▲當麻晋次郎氏（官吏）同 ▲安武愼一氏（同）同 ▲內山俊光氏（醫師）同 ▲守田良輔氏（公吏）同 ▲藤本强氏（會社員）同

出發

▲增田昇二氏 十四日大連へ ▲神守源一郎氏 同 ▲有賀輝氏 奉天へ ▲吉野信次氏 哈市へ ▲後藤吉也氏 京城へ ▲小日山直登氏 鞍山へ ▲山田添氏 大連へ ▲小川茂一氏 奉天へ ▲染谷保藏氏 哈市へ ▲高橋一穗氏 同 ▲松藤久吉氏 奉天へ ▲由木理一氏 哈市へ ▲石田源八郎氏 撫順へ ▲長尾行介氏 哈市へ ▲木原就氏 延吉へ ▲深田盛次氏 大連へ ▲藤原秀則氏 開原へ ▲諫橋均也氏 奉天へ ▲田中英氏 哈市へ ▲齋藤陽弌氏 奉天へ ▲筒井守政氏 哈市へ ▲北原義雄氏 同 ▲井上良治氏 大連へ ▲佐藤彥次郎氏 奉天へ ▲栗原智久氏 同 ▲尾形清氏 同 ▲貝山剛氏 同 ▲下村喜一氏 哈市へ ▲太田政德氏 同 ▲菱沼繁雄氏 奉天へ ▲大橋孝作氏 吉林へ ▲神尾憲一氏 奉天へ ▲山田高氏 大石橋へ ▲黑瀨與一氏 大連へ ▲有川敬二氏 哈市へ ▲小原久男氏 奉天へ ▲梶浦嘉夫氏 哈市へ ▲倉地仙一氏 同 ▲永雄策郎氏 同 ▲齋藤達三氏 同 ▲鈴木昭氏 同 ▲相原常一氏 大連へ ▲山本久吾氏 同

その日く

□一兵をも損せずして敵陣に上陸、世界戰史に類例を見ざる日本軍用兵作戰の妙

□上陸部隊無人の野をゆくが如くに猛進擊、目指す抗日の本據廣東へ！廣東へ！

□上海、南京既に陷ち、漢口廣東目睫のうちに香港孤立の日愈よ迫る

□修好使節サルバドル訪問を中止する由、日本に次で承認した國であるが…………

□滿洲國赤十字社創立、東西の粹をとり王道の國に一段の光明を？

勅書を賜はる佳き日

王道の國に創む 滿洲國赤十字社

創立記念式典盛大に行はる

日滿不可分關係を更に一層深い連繫に結んだ滿洲國赤十字社創立記念式典は十五日午前十時から協和會館で盛大に擧行された、この日初冬の風は肩を刺す如く感ぜられたが冷嚴の氣滿ちて絶好の式典日和、會場正面には日滿兩國旗、兩側には滿赤社旗が揭げられてゐる開式三十分前植田關東軍司令官の到着に引續き皇帝陛下より御差遣の勅使熙宮內府大臣入場、正面の正座に着席するこのほか來賓として張國務總理、齊參議、于治安、孫民生、李交通各大臣、磯谷關東軍參謀長、高須駐滿海軍部司令官代理村井少佐、德川日赤副社長、御影池內務局長官、于特別市長、于首都警察總監、橋本協和會中央本部長、皆川同總務部長等日滿の顯官名流四百餘名、防共六ヶ國旗に飾られた式場に着席の上、定刻早借總務部長の開會の辭によつて開式一同國旗に敬禮、滿日兩國歌齊唱の後臧總裁（滿文）並びに武田理事長（日文）夫々謹んで勅書を捧讀、孫設立委員長の設立經過報告があつて臧總裁式辭を述べ、ついで武田理事長以下新役員をさし招いて一々列席者に披露、終つて武田理事長役員を代表して就任の挨拶を述べれば、これに對し植田關東軍司令官、張國務總理、德川日赤副社長、于治安部大臣、橋本協和會中央本部長、古田滿洲軍人後援會長、滿洲國防婦人會長代理磯谷照子女史等の祝辭があり、祝電披露があつて午前十一時半目出度く閉會、一時退場の後同十一時四十分より祝宴に移り、武田理事長ならびに大臣側の挨拶があつて杯を擧げ最後に張國務總理の發聲で滿日兩帝國萬歲、德川日赤副社長の發聲で滿洲國赤十字社萬歲を夫々三唱、十二時半盛會裡に散會した【寫眞は式場全景と上段右側植田軍司令官、左側張國務總理】

勅書を賜ふ

滿洲國赤十字社創立に際して賜りたる勅書左の如し

勅書

茲ニ滿洲國赤十字社ヲ剏立シ恩賜財團普濟會及日本赤十字社滿洲委員部ノ事業ヲ繼承シテ戰時ノ衛生勤務ヲ幫助セシムルト共ニ常時醫療救恤及救濟ノ事ニ任セシム朕實ニ之ヲ嘉フ爾社務メテ朕カ意ヲ體シ仁愛ヲ以テ心トナシ奉公ヲ以テ志トナシ畛域ヲ畫セス其ノ至誠ヲ盡シ一旦緩急ニ際シテハ日滿共同防衛ノ大義ニ鑑ミ日本赤十字社ト相ニ連繫シ共ニ力ヲ致サハ則チ必ス克ク宗旨ヲ貫徹シ以テ淸明ノ化ヲ補ヒ艱難ノ局ヲ濟フヘシ當務ノ急其レ共ニ之ヲ勗メヨ此ヲ欽メ

御名御璽

康德五年十月一日

臧總裁の奉答文

滿洲國赤十字社總裁臧式毅職員一同を率ゐ謹んで奏上す恭しく維れ滿洲國赤十字社創立の際明勅を奉戴す叡慮無邊宏大寛に感激の至に勝へず總裁等誓つて恭敬恪遵し奉行懈らず仁愛の社旨を體し協心戮力、勇往邁進、報國恤兵福民の徹底にめん、乃ち恒に有事に具ふると共に醫療救恤、救濟の事に允り無告の氓をして其の惠に沾はしめ一旦緩急あらば日滿共同防衛の大義に則り日本赤十字社と協扶し時艱を剋復し東亞和平の確立、人類福祉の增進に貢獻し以て宸旨の萬一に應ふべし赤誠を披瀝し虔みて恐懼奉答す

康德五年十月一日

臧總裁式辭

滿洲國赤十字社創立記念式典當日の臧總裁の式辭左の如し

式辭

本月一日滿洲國赤十字社創立に際し畏くも皇帝陛下より優渥なる勅語を賜り且御下賜金を拜し奉り今日赤創立記念式典を擧行するに當り特に勅使御差遣賜り寔に恐懼感激に堪へざるところなり

尚關東軍司令官、張國務總理大臣、德川日本赤十字社副社長閣下をはじめ日滿朝野の貴顯名士百忙の間多數御賁臨を辱ふしたるは本社の最も光榮とするところなり

我滿洲帝國は順天安民の本義に則り建設の大業成り國礎愈々として鞏固に、庶政倍々整備し國運悠遠無窮に普みつゝあるは宇內の萬邦均しく驚嘆するところなり

滿洲國赤十字社が友邦日本帝國の絶大なる支援、我滿洲國皇室の御眷顧並業土建設に精進せる官民一致の力により誕生し力強くその第一步を踏み出したるは隆進途止にある我國に更に陸離たる光彩を添へたるものにして上下齊しく慶賀に堪へざるところなり

滿洲國赤十字社は恩賜財團普濟會並に日本赤十字社滿洲委員部の事業を繼承創立せられたるに鑑み崇高至醇なる日滿兩國は聖旨を體し戰時における衛生勤務を幫助すると共に恒に醫療救恤、救濟事業の徹底を圖り以て報國、恤兵、福民の實を擧げん覺悟なり

今や內外多事にして時艱倍々加はり日滿擧國一致の緊張を要望するの秋本社の創立を見たるは誠に意義深きものあると同時にその責務の重且大なるを痛感する次第なり

惟ふに赤十字事業の使命は人類永遠の和平を確立せんとする國家的事業なるに鑑み我等聖業に携はる者一意專心協心戮力一旦緩急あるに際しては日滿共同防衛の大義に則り日本赤十字社と協扶し其の宗旨を貫徹し淸明の化を補ひ時艱の局當務の急を濟ひ以て宸旨の萬一に應ふると共に日滿朝野の期待に添はしめん覺悟なり

聊か蕪辭を連ねて式辭となす

祝詞（植田軍司令官）

茲に滿洲國赤十字社の創設なり發會の式典を擧行せらるゝは本職の深く欣幸とするところなり惟ふに現下に於ける國內外の情勢は滿洲國に於ける國防組織の確立强化を要求すること益々急なり、這般滿洲國に於ては日本赤十字社の滿洲における既存施設及恩賜財團普濟會を合體して滿洲赤十字社を創設して日滿不可分關係並に共同防衛の趣旨に基き救護員の養成、救護材料の整備を圖りもつて戰時事變に於ける衛生勤務を幫助せしむると共に恒に醫療救恤、救濟事業等を行はんとす洵に時宜に適ひ國家の期待に應へたるものにして慶欣幸に堪へざる所なり、本社事業の運營に關しては滿洲國の特殊國情に鑑み政府機關協和會等緊密に連繫し五族生民の撫育救恤を徹底し且特に戰時救護に關しては日滿協同防衛の趣旨に合する如く相互密接なる連繫を保持し日滿兩國の救護力を充實して其綜合能力を增大するに遺憾なからしむるを要す、翻つて東亞の趨勢をみるに時局の前途頗に重大にして國家の本社今後の經濟運營に期待するもの極めて大なり、庶幾くは職員諸子精勵克く其職員を完うし國內生民の救恤を洽からしめ戰時救護の重責に應へ以て日滿共同防衛遂行に寄與せんことを一言以て祝詞となす

昭和十三年十月十五日

關東軍司令官 植田謙吉

武田理事長挨拶

滿洲國赤十字社創立記念式典における武田理事長の挨拶次の通り

本月一日滿洲國赤十字社創立の際畏くも優渥なる勅書と御內帑金を下賜せられ今日又創立記念式典を擧行するに方り特に勅使を御差遣になつたことは職員一同恐懼感激の極である、なほ關東軍司令官閣下をはじめ朝野貴顯の閣下ならびに各位多數の御賁臨を辱ふしたのみならず日本赤十字社より遙々副社長德川公爵閣下を派遣され斯くも盛大に式典を擧げ得たことは本社の最も光榮とするところである

扨て滿洲國は建國以來茲に七星霜此間世界に類例を見ざる發達を遂げ國礎今や磐石の堅きを加へ盟邦日本帝國と共に非常時局に直面して居る今日本社の創立を見たことは實に日滿不可分と共同防衛との鐵則を赤十字事業を通して一層鞏固ならしむる次第で洵に慶祝に堪へざるところである、殊に滿洲國赤十字社設立に當り日本赤十字社より提供された滿洲國內における同社の施設は、畏くも日本皇室の御眷顧に基き創設された歷史を有するものであり又今次本社に繼承された恩賜財團普濟會は皇帝陛下御登極の砌社會事業獎勵の思召を以て設立されたものであつて本社の創立は實に日滿兩國の崇高なる御聖旨の象徵と存ずる次第である、次に赤十字社戰時事業の遂行に當つては特に愼重周密なる計畫と準備を必要とし且その實行は一旦緩急の際直ちに軍の要求に應じ得るは勿論其人的資材の平時整備においては非常なる努力を要するものと信ずる、又一面においての平時事業として所謂健康の增進、疾病の豫防苦痛の輕減に關聯する事項は現下の國情に即應して萬難を排し成果を收むる樣畫策することを急務とする次第である

勅書を拜し感激

武田理事長謹話

滿洲國赤十字社創立記念式典終了後武田理事長は勅書下賜に對し左の如く謹話した

本日滿洲國赤十字社設立に當りまして畏くも皇帝陛下より優渥なる勅書を賜り且つ有難き御下賜金の御沙汰を拜し奉り恐懼感激に堪へざる次第で御座います

本社は恩賜財團普濟會ならびに日本赤十字社滿洲委員部の事業を繼承し設立せられましたものでありまして其の崇高至醇なる精神を體しまして戰時における衛生勤務を幫助しますると共に恒に醫療、救恤その他諸種の救濟事業の徹底を圖り以て報國、恤兵、福民の實を擧ぐる覺悟で御座います、今や盟邦日本帝國は東亞安定の立場より隣邦中華民國を赤魔の桎梏より離脫せしむる爲聖戰の半にあり歐洲の風雲亦急を告ぐるの秋本社の創立を見たるは洵に意義深きものあると同時に其の責務の彌々重大なるを痛感する次第で御座います本社は日滿協同防衛の大義に則りまして常に日本赤十字社と緊密なる聯繫を保持し其の救護力の萬全を期し一旦緩急ある場合は之が使命の達成に勇往し東洋平和進んで世界永遠の平和樹立に貢獻し以て聖旨に副ひ奉らん覺悟で御座います

臧滿赤總裁謹話

本日滿洲國赤十字社設立に際しまして畏くも皇帝陛下より優渥なる勅書を賜り且つ有難き御下賜金の御沙汰を拜しましたことは寔に恐懼感激に堪へない次第で御座います、省みまするに我滿洲帝國は民族協和、王道樂土の具顯を目標として誕生して以來既に七星霜を經過致しまして、政治に產業にその他凡ゆる部門に亘り異常なる隆昌發展の道を辿りつゝあるの秋、光輝ある友邦日本帝國の絶大なる御援助により本社の創立を見ましたことは躍進途上にある我國に一生彩を加へますると共に獨立國家としての態樣を一層明確に現したものでありまして國民の齊しく慶賀に堪へない次第で御座います、今や內外多事にして時艱倍々加はるの秋本社の使命の重且大なるものあるを痛感する次第で御座います、惟ふに赤十字事業の使命は崇高至純なる博愛精神に則り世界永遠の平和を確立せんとする國家的事業なるに鑑みまして我等聖業に携はる者協心戮力、一意專心其の本務の貫徹に邁進し以て宸慮に應へ奉らん覺悟で御座います

滿洲國赤十字社總裁 臧式毅

大陸開發の人柱

滿鐵殉職社員 けふ大追悼會

貴き犠牲七千四百九名

大陸開發の貴き人柱となつた滿鐵殉職社員七千四百九名の追悼會は秋涼の十五日大連本社を始め滿鐵社旗の靡くところ各地一齊に執行された

この日新京に於ては午前十時二十分在京三千社員支社前庭に整列社員聯合會本島庶務部長の開式の辭についで井上聯合會長別項社員會幹事長の追悼辭を朗讀、大連に向つて一分間の默禱を捧げて今はなき同僚の英靈に冥福を祈つた、なほ社員會幹事長、聯合會長代理中野職員、各分會代表一行は午前八時三十五分の列車で陶家屯の殉職記念碑に參拜新京神社神職の司祭にて追悼會を執行午後は全員休業して弔意を表した【寫眞は新京追悼會】

追悼の辭

此秋昭和十三年十月十五日南滿洲鐵道株式會社は創業以來の殉職社員七千四百九柱の英靈を迎へ第十二回殉職社員追悼會を擧行せらるるに方り滿鐵社員會を代表し謹みて靈前に白す、抑々我滿鐵社は我國大陸政策の先驅として營々茲に三十有餘年今や社業は發展の一途を辿り其の業務は全滿支那に及び社員も廿萬の多きを算するに至れり、即ち滿鐵會社の發展は之我國運の發展にして我等社業を奉體する者其の責務洵に重大なりと謂ふべし、惟ふに卿等幸に國策會社に命を奉じ此の大業に參畫し獻身以て社運を今日の隆盛に導く其の偉勳何物にか之を喩へむ、卿等命を冒し酷熱と戰ひ嚴寒を冒し人跡未踏の地に重任を全うせんとして不慮の災難に遇ひ或は勇躍第一線に進みて難に赴き以て我社の人柱となり大陸經營の礎石となるゝ曩に滿洲事變の起るや皇軍と行動を共にし或は勇躍先驅車に搭乘して匪賊と鬪ひ或は一身を敵前に暴露して保線の任に當り以て盟邦滿洲國の建國に盡瘁せり、昨夏支那事變勃發するや克く皇軍に協力一致武器なき戰士として彈丸雨飛の下滅私奉公の誠を致す之一に卿等か矜持せる滿鐵魂の發露にして其の赤誠の迸る所赫々たる業績は永久に鐵路靑史と倶に讃へられん、今や滿蒙の天地皇風洽く支那亦明朗化の機運漲り漸く東洋和平の確立せられんとする秋に方り滿鐵會社の前途誠に洋々たり我等後進不肖と雖誓つて卿等の遺烈を龜鑑と爲し以て社運の興隆に盡さむ、在天の英靈冀くは來り享けよ、茲に聊か蕪辭を述べて追悼の意を表す

昭和十三年十月十五日

滿鐵社員會幹事長 人見雄三郎

秋の競寫大會

明日大同公園て

寫友會のヒット本社後援秋の競寫會は雨に阻まれ延期してゐたが愈よ明十六日ミス東洋の麗人二十數名をモデルに動員して午後一時より大同公園に於て開催する、紅葉の公園に落葉を踏む彼女等の風情また格別とカメラマンも張り切つて腕によりをかけての張り切り方盛況が豫想されてゐる寫友會では進行の圓滑を期し十四日午後七時より公會堂に役員會を開きモデルの配置その他につき種々打合せを行ひ傑作の出現を待つてゐる、なほ作品は十月末締切で懸賞募集し特賞以下五等迄カップを佳作三十點には賞品を呈し一般愛好者のために來月初旬展覽會を開催する

美人の家出

緣談厭うてか

多の麗訪れた街頭への家出二件、その一ー錦町三丁目二五吉田庫人氏方女中高田久榮さん（一九）は去る二日何も言はず外出したまゝ歸らず、最近鄕里の方に緣談が有つたが本人は心進まぬと語つてゐたので、その話を拒む爲に鄕里へ歸つたもので無いかと親元の三重縣阿山郡上野町丸の內三八高田寅男氏へ照會した所全然歸鄕した模樣無く始めて家出したこと判明、中央通署に屆出でがあつたが、同人は丸ポチャの美人で鄕里の緣談に心進まぬ所を見ると他に戀人でもあるのでは無いかと目下所在搜查中、その二ー曙町關東軍倉庫住宅吉田芳太郎氏（二七）の妻女フミ子さん（三〇）はこれも二日家出したまゝ行方不明となりその後內に密調べてゐたが、何等手懸りが無いので十五日この旨中通署へ屆出て來た、調査の結果東一條通巴旅館に十三日夜それらしい女性が一泊した模樣があつた外不明で目下搜查中

サイドカーと激突して

運轉手重傷

十四日午後七時頃大同大街、新發路交叉點で劉信名運轉京タクと飯田政夫運轉軍サイドカーが激突してサイドカーは顚覆、飯田君は街路上に跳飛ばされた上同自動車に轢かれて直ちに綠町醫院へ擔ぎ込み手當中であるが重態で生命は取止められない樣子

あす（十六日）

▲本社主催飮馬河釣魚大會、午前六時五十五分出發
▲第一回大學高專籃球大會、午前九時、敷島高女
▲新京軟式庭球選手權大會、大同公園コート
▲天華一行公演、公會堂

今晩の主なる放送

▲七・三〇吹奏樂（奉天）第一軍管區軍樂隊▲從軍婦人の夕（東京）八・〇〇合唱▲八・一五朗讀「心のいろ」堀越節子▲八・三〇歌謠物語「赤き十字」井口小夜子外▲九・〇〇ラヂオドラマ「月高く」高津慶子外

飮馬河釣魚大會

▼期日 十月十六日（出發）午前六時五十五分（歸着）午後四後四十分
▼會費 大人一圓卅錢、婦人一圓、子供五十錢
▼申込所 新京驛案內所、ビューロー新京案內所
▼賞品を呈す

主催 本社並に新京驛

映畫と演藝

ダイヤ街檢番溫習會 今夕から開演
あす二日目の番組

ダイヤ街檢番秋季大溫習會は錫り高を全部陸海軍へ恤兵獻金を行ふ目的で十五、六兩日に亘り西廣場俱樂部で開催されるが、二日目のプログラムは左の通りである、入場料一圓

▽長唄素囃子「伊勢音頭」＝上段（唄）京千代、桃ゝ、小ひな、芳丸、ひな子（三味線）桃菊、桃春、吉彌、鈴代、秀丸　中段（唄）千鶴香小金、桃千代、千丸（三味線）桐葉、圓太郎、和代、清若、おも茶（笛）桃子（小鼓）金丸（同）信千代（大鼓）千代樂（小鼓）玉代（同）玉千代（大鼓）とん子（太鼓）桃代（同）若代（同）千代葉

▽常磐津「岸邊　常盤松島」＝（立方）鈴代、玉千代、桃奴（唄）りん子、政彌、玉代富美香、奴（三味線）お染、桐葉（上調子）圓太郎

▽清元「鳥羽絵」＝（唄）笑丸、照若、京千代、千鶴香（三味線）すま子、桃龍、（上調子）りん子

▽長唄舞踊「吾妻八景」＝（立方）光豆、花千代（唄）照若、桃若、小金、松千代

千鶴香（三味線）一葉、桃奴、金丸、桃春（上調子）お染

▽常磐津「お染久松初戀千種の濡事」＝（唄）りん子富美香、奴、桃奴（三味線）すま子、お染、圓太郎

▽長唄舞踊「新曲浦島」＝（立方）富三（唄）りん子、鼎次、桃子、桃若、笑丸（三味線）玉次、小夏、喜美三、桃枝、一葉

▽長唄素囃子「楠公」＝（唄）お妻、富三、桃若、歌枝千鶴香、若（三味線）お染小夏、桃枝、宇女若、桃菊一葉（笛）桃子（小鼓）桃奴（同）世々香（大鼓）政彌（小鼓）千代樂（同）金丸（同）春美（大鼓）桃代（太鼓）國葉

▽踊清元「青海波」＝（立方）笑奴、菊美（唄）照若、千鶴香、笑丸（三味線）すま子、桃龍（上調子）お染

▽長唄舞踊「秋色種」＝（立方）宇女ゝ、若代、玉代、小ひな、玉子、光豆、世々香、福ゝ、すま勇、若丸、（唄）りん子、歌枝、桃若照若、松千代、桃春、笑丸（三味線）喜美三、桃枝、宇女若、和代、信千代、桃代（上調子）一葉、小夏、桃子

半島映畫「漢江」 けふから朝日座封切

最近の素晴らしい半島映畫製作の波に乗つて、半島の若き眞摯な映畫人達が、半島の美しい人情と風景と音樂とを盛り込んだ清純な一篇の映畫詩「漢江」がおくられて來た

原作は白雲行、監督は方漢駿、撮影は梁正雄、出演は尹逢春、李錦龍、具榮燕、金一海、玄舜英、睦雲峰で既に內地では東和商事の配給になり好評嘖々たるものがある

物語は京城を遡つて五日間、水清くポプラ青き漢江の上流昔乍らの素朴な人々の生活を描いたもので純粹な感覺を掬みとることが出來る、十五日より十八日まで朝日座に於て封切公開される、スタッフ、配役は左の通り

【製作】原作白雲行、脚色金赫、同李翼、監督方漢駿、撮影梁正雄、音樂柳淵【配役】老船夫明三（尹逢春）その息子在守（李錦龍）その娘常順（具榮燕）荷主（金一海）居酒屋の主婦（安惠慶）その娘鳳姫（玄舜英）船人成根（睦雲峰）同致實（金德心）

「ぼくらの國策」 愈々製作開始

銃後國民の正しき心構へを映畫によつて、の主旨の下に文部省が各社に製作依囑せる敎化映畫として新興東京は愼重準備中の處　如月敏脚本「ぼくらの國策」製作と決定、直ちに監督伊奈精一　撮影中井朝一、キャストには五・三一グループの新人、高島敏郎、鮎川美知を抜擢主演せしめて撮影開始した、本篇は、銃後國民の家庭生活の改善を具體的に容易に映畫化せるものでキャストは左の通りである

上野先生（高島敏郎）飯田圭介（高木八郎）妻安江（中田耕二）息子昭夫（松平龍子）相島春子（鮎川美知）他に小學生大勢

滿映製作部現況

△高原富次郎監督、李鶴、杜撰、張敏主演の「田園春光」は衣裳、小道具調べ

△坪井與、立川惠作監督、隋尹輔、王麗君、王福春主演の「成吉思汗の歌」は十三日王爺廟方面へロケーションに出發の豫定

△「蜜月快車」を完成した上野眞嗣監督は堀善照原作の「花嫁讃歌」を映畫化すべく準備中

△日活に於て「大金剛山の譜」「春雨郵便」「新商賣往來」「樂天公子」等々を監督した水ケ江龍一は、この度滿映に入社、目下、オリヂナル「國法無私」（假題）脚本準備中

△「大陸長虹」を完成した上砂泰誠監督次回作は長谷川濬原作脚色の「胡同の愛」に決定、準備中

△大森伊八監督、撮影の「保險烈國」編輯中、撮影中、

△林野局依頼「移民村收穫狀況」（假題）玉置信行カメラマンは古城鎮、仙洞出張中の處、この程歸京編輯中

△松本光庸作品、竹內光雄撮影の「鹽」は引續き營口、錦州方面ロケ中

△森信監督、田中、藤卷兩キヤメラマンは「黎明の寶庫東邊道」を撮影中

△協和會委囑「全聯合協議會實況」は目下編輯中

△森信監督、藤卷良二撮影の「孃寸」は撮影完了分のみ編輯中

サボテン

「あたし滿人なんかと結婚はしないわよ、さう書いといて頂戴よ！」千鳥の小千鳥はさう言つてそれからあの口を喇叭みたいにして眼玉をギョロギョロ動かす珍藝をやつて見せました、たしかに至藝と言ふべきもの、これは映畫に收め置くべき價値充分にあるものではあると並居る連中感嘆これを久しうしました▼新京放送局專屬の感ある鯉音、あたしはいつもお向ひ（すなはちキャピタルです）のバンドを伴奏に賴むの、と仰言る、なる程これは近くて便利・窓をあければ滝が見えるとは違ふが、忽ちにしてそのバンドの奏樂が聞えて來るのであつた……

雜音

「妻の魂」大會と「一地雷火組」を組んだ銀キネの初日は流石新興屈指の娛樂作二本を並べたゞけあつて好調な客足を見せ、豐劇、長春座はこゝに比して開きを見せる▼半島映畫「漢江」がけふから朝日座に掲る、半島映畫の紹介もいゝが何んでも彼でもお義理で見せられるやうでは困る、これなり先頃の「旅路」などはいゝとして「漁火」級のものになつたら考へものだ、よく銓衡してかゝつて貰ひたいと思ふ▼豐劇の大市乙女ダンスースヰングショウ」は愈よ二十日から、併映される映畫は淸水宏の「出發」と「からくり女庭訓」と決定、「家庭日記」「鶴八鶴次郎」の大作プロと正面から組合ふ譯だ

東京・本郷・神誠館

舊八月二十三日　十月十六日　日曜　辛巳　赤口　危　房宿

●一白の人　內に在りて怠りなくば福德自ら外より來る　壬と癸と丑が吉

●二黑の人　內に屈する所ありとも外には大に伸びる日　甲と丁と庚が吉

●三碧の人　人を當てにせず己が力を便りて思ふべき日　庚と辛と丑が吉

●四綠の人　他人の言に動かさるゝ時は失敗を見るべし　庚と辛と丑が吉

●五黃の人　落付きて業を勵めば何事も可ならざるなし　乙と巽と丙が吉

●六白の人　朋輩の助けありて存外の光榮に浴する吉日　甲と丁と庚が吉

●七赤の人　飢る者を見れば人事と思はずに自省すべし　丙と辛と丑が吉

●八白の人　苦心の企て事が追々と利得に向ひ來る吉日　甲と丙と丁が吉

●九紫の人　外に出でゝは亘事も芳しからず時機を待て　丁と未と庚が吉

外國貿易の概況
九月中入超八千萬圓
＝經濟部發表＝

九月中の滿洲國外國貿易總額は一億七千五萬三千圓にして輸出は四千四百六十三萬九千圓、輸入は一億二千五百四十一萬四千圓、差引八千七十七萬五千圓の入超である、一月以降累計は輸出五億三千四百七十六萬五千圓、輸入八億八千八百四十三萬一千圓にして三億五千三百六十六萬六千圓の入超である、前年同期と比較して見れば本月中の輸出は一千一百五十九萬五千圓を、輸入は五千一百十萬四千圓を各増加してをり、一月以降累計に於ては輸出六千三百八十九萬六千圓、輸入二億七千五百八十四萬一千圓の夫々増加となつてゐる、尚對第三國貿易に付て見るに本月中の輸出は二千三百六十六萬五千圓、輸入は二千六百六十五萬一千圓にして三百五十八萬六千圓の入超であるが、本年二月以來毎月入超過程にあつた中國、ドイツを除く其他の第三國に對し再度出超を現出したるは特に目立つ、一月以降の對第三國貿易尻は約三千萬圓の出超となつてゐる（單位千圓）

△對國別輸出

	本年	前年
日本	三、五五〇	一五、八一〇
中國	八、三一九	五、一一八
獨逸	五、一四四	二、一八八
その他	二一、七〇二	一〇、〇三八
合計	四四、六三五	三三、〇四四

△對國別輸入

	本年	前年
日本	九八、七六四	五七、六三三
中國	九、八六九	三、五〇〇
獨逸	六、五三五	八、四六
その他	一〇、〇八七	一〇、三五一
合計	一二五、三二二	七二、三〇〇

△一月以降の累計

	輸出	輸入
日本	三八八、三五四	六六二、六六七
中國	八五、八一四	四三、二〇一
獨逸	五七、六六〇	三九、三〇六
その他	二〇三、八九八	一四三、六六七
合計	五三四、七六五	八八八、四三一

△稅關別

	輸出	輸入
大連	四四、八四三	四〇、〇四四
安東	三、五六八	一三、四四八
營口	三、八五六	一二、六三五
奉天	一	七、六三六
新京	一	一、五三〇
哈爾濱	二	三、九三一
圖們	七、〇〇一	一、八一九
山海關	一、二六八	四、三三三

商工會特別會員
奉天省割當

經濟部では商工公會法施行規則第卅五條に基き商工公會に對する各特別會員の康德五年度經費賦課額を決定したが、奉天省割當分は次の如く經濟部より通牒に接したので省當局では近く管下商工公會に通達することゝなつた（單位圓）

	滿鐵	電々	滿航	滿拓	中銀	興業	滿業	計
奉天	一〇、〇〇〇	一、三〇〇	一、八〇四	一	一〇〇	一五〇	一	一三、三五四
營口	六、〇〇〇	一〇〇	一	一	三五	一〇〇	一	六、三三五
鐵嶺	四、〇〇〇	一	一	一	三五	一〇〇	一	四、一三五
鞍山	四、五〇〇	一〇〇	一	一	一	一〇〇	一	四、八〇〇
遼陽	三、五〇〇	一	一	一	三五	一〇〇	一	三、六三五
四平街	三、五〇〇	一〇〇	一	一	三五	一〇〇	一	三、八三五
本溪湖	三、五〇〇	一	一	一	三五	一〇〇	一	三、六三五
開原	二、五〇〇	一〇〇	一	一	三五	一〇〇	一	二、八三五
西豐	一	一	一	一	三五	一	一	三五
海城	一	一	一	一	三五	一〇〇	一	一三五
海龍	一	一	一	一	三五	一〇〇	一	一三五
撫順	四、五〇〇	一	一	一	三五	一	一	四、五三五

西安、東豐、蓋平、新民、法庫、昌圖、遼陽は何れも中銀廿五圓のみで奉天省總額四萬四千七百六十九圓である

大豆輸出問題
長官、業者意見聽取

大豆輸出不振の打開に就ては輸出業者間の重大懸案となつてゐるが、來連中の星野總務長官は十四日午後星ヶ浦ヤマトホテルに三井、三菱、日清の大手筋代表者並に田村半三氏等を招き輸出促進について業者の意見並に輸出狀態を聽取し今後の政府のとるべき對策樹立に資した、席上ではかなり率直に突込んだ意見が交換された模樣である、なほ星野長官は十五日歸京の筈

一、第四回綿糸布公定價格の件
二、綿糸規格統一實施期並に公定價格の件
三、第五回綿糸布公定價格委員會開催の件
四、棉花手形支拂期間の件

なほ綿糸標準價格については第三回委員會において總體的値下實施が認められてゐたが約定物多く實限にいたらず、今次第四回委員會では新棉出廻りその他の理由で値下必至とみられてゐる

綿糸布標準
價格委員會開催

滿洲綿聯は來る十八日午後二時より同會事務所で第四回綿糸布標準價格委員會を開催左の議案を附議する事となつた

多獅島鐵道
明春營業開始

平北一帶は勿論、東邊道資源開發に極めて重大役割を持つ經濟動脈線として輝かしき使命を期待される不凍港多獅島築港と新義州を繫ぐ多獅島鐵道（全長廿八キロ）は來る十一月一日より開通の豫定であつたが、時局關係の影響等で豫定通り進まず又船車連絡が酷寒期途中から開始されるため困難な事情等もあり、同會社では計畫を變更萬全を期し明春解氷期と共に本格的營業を開始する事となつた

ドロマイト業
實業組合認可

本年四月より實施された關東州實行組合令による實業組合の結成を急いでゐた州内ドロマイト業者は利害の一致を缺ぎ結成難に陷つてゐたがこの程漸く纏まり、十四日附全權大使より認可された、なほ州内における新勅令による實業組合はドロマイト業を以て最初とする

大汽未拂込
滿鐵拂込決定

滿鐵では明年度豫算において大連汽船に對する未拂込金一千餘萬圓の拂込を計上することになつた、右は目下設立準備中の日本海海運統制會社に對する滿洲側加盟社大連汽船の出資に充當するものである

新設海運會社の資本金は三千八百萬圓（新潟北鮮線三千萬圓、敦賀、北鮮線八百萬圓）の豫定を新潟、北鮮線は內地側北日本、日本海近海郵船の三社と滿洲大汽の一對一の出資となし大汽の出資額は一千五百萬圓と見られてゐる

本年度八月末
入滿苦力統計

大東公司取扱による本年八月末迄における入滿苦力に對する各種統計次の如し（九月現在調査中）

△入滿勞働者職業

A	農牧林業	一九五、三三六
B	漁業	八〇六
C	鑛業	一八、六九二
D	工業	二〇〇、四七三
E	商業	三〇、八四五
F	交通業	二一、三四三
G	その他	五六、六六五

△出身鄕里

河北省	一八三、〇〇七
山東省	一五七、三四〇
山西省	二、五五〇
河南省	二三、六〇〇
察哈爾	一、九八〇
その他	約七〇、九

△査證地別來滿槪數

天津	一三五、〇〇〇
塘沽	一五八、〇〇〇
山海關	二四、〇〇〇
青島	一〇〇、〇〇〇
	一五〇、〇〇〇

で、送金方法は郵便局を通じて銀行を通じて錢莊を通じて友人託送で平均五十圓と見て四十萬人が故國に向ける金額は約千五百萬圓といふ尨大な數字に上る勘定になる

郵便局を通じて	七三
銀行を通じて	四九六
錢莊を通じて	一二四〇
友人託送	一二六五

滿拓支店管下
農場飛躍的に豐作

滿鮮拓殖奉天支店管下各移民地並に農場における本年度收穫高は籾廿二萬七千五百十石雜穀その他農產物五萬九千七百十一石と昨年度收穫高に比し飛躍的豐作を示した、勿論これは各地とも春耕作付が順調であつた爲めで兩三日中には刈取終了脫穀し、來月中旬までには完了する見込である種類別數量左の如し

水田	九、五六七町	二二七、五一〇石
籾		
畑地	九、一四四町	
穀類		五九、七一一石

芝罘	一八〇〇〇
威海衞	一三〇〇〇
安東	
古北口	
喜峰口	
冷口その他	

尙之等入滿苦力二七四〇人に就いて鄕里送金並に歸鄕時携帶金調査は一人平均九十三圓

經濟開發根本方針と兩國策會社設立進捗（九）
北中支經濟開發の現狀

▽大に開發の狀況をみやう、長蘆鹽の開發に當つてゐるのは興中公司で、先づ從來の生產制限の桎梏から全鹽田を解放して全能力を發揮せしめて年額六十萬噸を要請するとともに新規鹽田の開發に乘り出し、約一萬五千町步の土地を買入れた、これが數年後に熟田化した曉には長蘆鹽の產鹽高は百二、三十萬噸に達するか、その中昭和十九年に於ける對日輸出は九十萬噸の豫定である、以上が大體の長蘆鹽開發計畫だが、このために興中公司では既に鹽田一萬二千町步の開拓並にこれが附帶施設たる洗滌工場の建設に着手し、鹽分含有量多き工業鹽に當てんとしてゐる

山東鹽については昭和十二年初設立された山東鹽業が對日輸出に當つてゐるが、四ヶ年後の對日輸出四十萬噸を目指して、鹽田開發計畫を續けてゐる、かくてこれらの增產計畫が完成すれば、わが國の工業鹽は日滿支ブロック內で略々自給が可能となるわけである

▽非常時の寵兒アルミニウムも最近の急速な發展により一〇〇％の輸入依存から脫却して國內自給の確立に多くの望を囑し得るに至つた、しかしアルミニウムの原鑛石たるボーキサイトは國內には產せず、一部製造業者が朝鮮の明礬石（品位三五—六％）を原料として使用するに止り、多くの業者は高品位のボーキサイトを海外より輸入してゐるのでアルミニウム工業の國內自給は著しく跛行的であつた、わが國の當業者の中では冀東地區の礬土頁岩（俗に長城粘土といはれる）に着目しこれが開發を目論む者もあつたが、事變後は礬土頁岩の開發は早くも具體化せんとしてゐる

冀東地區の鑛區は開平炭田附近の京山線古冶站より約四粁の地點にあり、品位六〇—六五％の良鑛數百萬噸を豫想される、だが今後大々的に開發が進められるのは山東省の鑛區で、淄川、博山、章邱炭田附近のもので豫想埋藏量實に十億噸に達し、その平均品位は六一・五％、露天掘の可能なるものだけでも二十六箇所、百二十五萬キロトンといはれる、しかも國民政府は鉛鑛として保留鑛區に指定し、採掘には殆ど手を染めてゐなかつた

これのアルミニウム資源（礬土頁岩）の開發について臨時政府は日本側の北支開發と提携して特殊開發機關を設立して統制する開發計畫を實行したい意向である、だが北支にはアルミニウム精鍊に不可缺なる電力が乏しいので、原鑛石を滿洲、朝鮮に送り、同地方の豐富低廉な電力によつて精鍊することになるやうである、而してこれらの開發計畫が進行すれば、原料を海外に依存するわがアルミニウム工業の弱點は大いに補強せられやう

商況欄（十五日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊	一五〇志一〇片
紐育金塊	三五弗〇〇〇〇
倫敦銀塊	一九片一六分二
同先物	一九片二分一
紐育銀塊	四二仙四分三
墨買銀塊	五一留比一六分七

▲市俄古小麥

十二月限	六五仙四分一
五月限	六六仙四分一
七月限	六五仙二分一

▲紐育棉花

現物	八仙五五
十月限	八仙二七
十二月限	八仙三〇
一月限	八仙一九
三月限	八仙〇七
五月限	七仙九六
七月限	

▲印棉

ブローチ	一五五留比八分五
オームラ	一四〇比留八分一
ベンゴール	一六〇留比〇分〇

カルカッタ麻袋

青筋	二二留比六分二
鐵筋	二五留比八分五

▲紐育株式

スチール株	六三弗四分三
アナコンダ株	四〇弗八分七

外國爲替

英米爲替	四弗七七仙八分五
米日爲替	二七弗六三仙
米支爲替	一六弗〇〇
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志八片二分一
英佛爲替	一七八法郞七五
印日爲替	七八留比八分五

▲滿洲中銀爲替

紐育向	二七弗八分五
倫敦向	一志二片〇〇

阪神爲替

對米賣	二七弗	八分五
對米買		三二分三
對英賣	一志二片	〇〇
對英買		〇〇一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
新東	一四九七〇	一五〇四〇

▲大阪株式（短期）

▲大連株式（短期）

各地商品市況

大阪綿糸

大阪棉花

各地特產市況

新京

大連

大阪人絹

大阪期米

橫濱生糸

戰時小說

敵前銃後（百六十三）
惡人同志（五）
山岡弘　作　木原芳樹　畫

「しまつた！」と汐見は思つた。支那人の女なぞに、こんなペテンにかけられたかと思ふと、汐見は憤激して日本人の力を見せてやらないではゐられなかつた

「コラ、待て！」

その酒場を飛び出すなり、汐見は女の後を追つた。追はれてゐると知るや、女は一層ヘビーをかけて、無我夢中に逃げて行く。

「待たんか、コラ、待たなきや射つぞ」

追ひながらサックからピストルを出すと、汐見は空を向けてパン〳〵と二發ほど續け打ちした。

途端に、女は何かに躓いて路上にベッタリと倒れた。

「射つぞ、コラ、生命が惜しくないか！」

叫びながら、ピストルを差向けて追ひかける汐見の姿を見ると、倒れたまゝで女は竦み上つた。

「た、た、助けて、射つちやいけない、射つちや危い！」

さう云ふ中に、汐見はモウ女の傍へ追ひついてゐた。

「此奴、逃げる氣だつたんだな、逃げりやア生命がないんだ、死にたけりやア逃げろ！」

……

汐見は女の襟頸を取ると、引摺り起した。

「逃げない、逃げないから、許して、許して！」

悲鳴をあげる女をグイ〳〵と突き立てゝ

「サア、今の酒場へ歸れ！娘の居所へ案內せぬ中は逃がしはせんぞ！」

襟頸を背後から小突き立てられながら、今までの傳法に似ず女は急に情氣返つて

「日本の兵隊さん、きつと娘の居る所へ案內するから、安心して下さい、モウ逃げない大丈夫です、大丈夫です！」

「文句を云はずに、サッサと步け、愚圖々々して居つては間に合はん事にならうぞ、急げ！」

「ま、兵隊さん、さう小突き廻さないで下さい、實はあの娘は、あの酒場に居るんぢやないんです」

「な、なんださ？」

「あの酒場は何にも關係はありません、娘を賣つた家は關係はないんです」

「此奴め、太い奴だ。いゝ加減な出鱈目をぬかすと承知せんぞ」

汐見は、支那人の好きつさに呆れた。その云ふところは一つとして信用出來ない。斯うなると、愈々此女を逃がす譯に行かなくなつたので汐見は一層力強くその襟を摑んで引ッ立てた。

「それなら何處だ、サッサと案內しろ、今度嘘をつくと、このピストルが物を云ふぞ！」

……

雙手にピストルを突きつけられながら、小突き立てられて、女は滿々足を運ぶのだがこんな場合でも片手は懷中の財布をしつかりと押へてゐる

戀て來かゝつた小路の裏の古ぼけたぼろ家の入口に立つと、女は汐見を振り返つた。

「こゝです、娘の居る所は！」

……

「嘘をつけ！此處ぢやあるまい、本當の所へ案內しろ！」

……

「イ、エ、こゝです、入つて下さい」

「ヨシ！」

汐見は少しも油斷をしなかつた。襟頸を引ッ摑んだまゝ女を先に立てゝ、その家の中へ踏みこんだが、採光の惡い支那家屋の中は、眼の慣れるまで、何處に何があるかも判らぬ程暗かつた。

さ、奧の方から途切れ〳〵に女の泣き聲が聞えてはないか。しかもその聲は、氣のせゐか何うやら金棕鈴のそれらしい。

汐見は聞き耳を立てゝ緊張した。

大正十五年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇五

發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

上陸軍の進擊に策應 海の荒鷲猛爆擊

南支戰況活潑を加ふ

【東京國通】大本營海軍報道部十五日午後二時十分發表＝十月十四日南支戰況次の如し（一）護衛艦隊は陸軍部隊の揚陸作業を掩護するとゝもに上陸點附近海上ならびに上空を警戒す、敵を見ず（二）海軍航空隊は上陸軍の進擊に策應し直接戰鬪に協力すると共に重爆擊により左の成果を收めたり

（イ）惠州附近の陣地道路を攻擊し有力なる敵部隊を潰滅しトラック數群を爆破す（ロ）博羅に敵大部隊集中しつゝあるを認め陣地、塹壕、兵舍その他軍事施設に對し猛爆擊を加へ多大の損害を與へたるほか博羅附近において軍隊輸送中の汽艇二隻、戎克多數及び自動車群を攻擊し、東江西岸にありし敵二個中隊を潰滅す（ハ）增城、黄溪頭附近の砲臺、陣地、橋梁を粉碎し、敵兵約三百を擊滅す（ニ）廣九鐵道石龍、石馬圩、橫瀝等において貨車五ヶ列車を攻擊し貨車合計八十輛を破壞炎燒せしめ、龍華墟にて軍馬約二十、兵約百を潰滅せり

【東京國通】大本營海軍報道部十五日午後零時半公表＝その後到達せる十月十三日海軍南支航空部隊の活躍狀況左の如し

一、廣九鐵路白石鐵橋を墜落せしめ又石龍、增城兩鐵橋を大破せり、先日來爆擊せる常平、東莞兩鐵橋は未だ落下の儘放置せられ之がため廣九鐵路は運行杜絶せるものゝ如く、樟木頭驛その他に立往生せる列車十數個を算す

二、惠州その他六ヶ所に於て敵軍用自動車五十餘臺並びに搭乘せる兵三百を擊滅し

三、惠州、增城の兵營、海豐その他數ヶ所の橋梁を爆破す、なほ敵は各所の木橋を燒却しつゝあり

東江に於て軍用汽艇（五十噸級）二隻を爆沈せり

立體戰の眞價發揮

バイアス灣の要害 完膚なきまでに粉碎

【東京國通】大本營海軍報道部發表＝軍艦〇〇にて十月十四日新井通信員報＝南支は昨年九月の廣東大空襲以來わが海軍の獨壇場であつたが、今次の敵前上陸に際しても海の荒鷲軍は四方よりバイアス灣の各要害に舞ひ下り、完膚なきまでに爆擊、銃擊を敢行して陸軍部隊の前進路開拓ならびに敵救援部隊の進出を粉碎し絶對制空權を恣にして立體作戰の眞價を發揮した、即ち十二日はバイアス灣の入口を扼する排牙山等の砲臺、更に前方主要據點淡水を爆擊、敵の戰意を沮喪せしめつゝ友軍に協力した、これに呼應して更に〇〇を中心として前後十回に亘り未曾有の連續空襲を敢行、廣東軍の前線橋梁を完全に粉碎し、殊に〇〇の南方四キロの地點に於て三十米の河を前に布陣してゐる敵集團に對しては極めて的確な重爆擊を加へた外、〇〇方面においては增援のため東進中の敵約二千を發見これを爆擊して潰滅的打擊を與へ、更に歩兵を滿載したトラック隊を發見その六十を爆碎、〇〇においても同樣のトラック隊に猛爆を加へ敵の前線掩護の集團を完全に遮斷した、なほ南支那海上に於て上陸部隊の護衛に當つてゐる旗艦〇〇及び〇〇編制の陸戰隊〇〇部隊は十三日午前六時亞鈴灣の南端に聳ゆる排牙山砲臺奪取のため敢然敵前上陸を敢行、空軍の猛爆擊下に一兵も損する事なく正午完全にこれを占領軍艦旗の下に各艦萬歲を三唱、かくてバイアス灣を圍繞する山々の稜線を全部占領し灣内の安全を確保したのであつた

平山墟占領

【東京國通】大本營陸軍部發表＝下涌墟にて通信員報＝バイアス灣敵前上陸を敢行した わが諸部隊は灼けつく太陽に喘ぎつゝ山岳地帶を北上十數里を突破、十四日夕刻惠州東南方約十一里平山墟を完全に占領、更に平潭墟方面に向つて進出中

所在の敵退け前進繼續

【〇〇十五日發國通】大本營陸軍報道部派遣官發表＝十五日早朝惠州を占領した〇〇、〇〇等の各部隊は憩ふ間もなく東江を渡河して逐次北岸に進出、一部は正午既に前進を開始せり、また〇〇快速部隊は淡水東櫓道を前進、十五日午前十時淡水西北方約五里沈隆圩を通過せり

廣九線指呼の間に望む 將兵士氣旺盛

【東京國通】大本營陸軍部十五日午前十時半發表

一、十三日淡水を占領せる部隊は十四日西進し夕刻新墟（淡水、廣九線中間）に達し指呼の間に廣九線を望み

二、上陸部隊の一部は所在の部落に據る微弱なる敵を驅逐し神速に北進を續行し十四日夕には早くも東江河畔に進出せり

三、橫瀝墟附近に進出せり全隊の士氣頓に高揚せり上陸地附近は依然天氣晴朗なるも日中華氏百度に達し酷熱灼くが如きも上陸部隊の士氣極めて旺盛なり

海陸兩最高指揮官

南支に歷史的會見

【軍艦〇〇十五日發國通】南支作戰に萬全の準備を完了した海陸兩軍最高指揮官は〇〇日〇〇集結地において歷史的會見を行つた、この日南海の空はあくまでも青く澄み渡り白砂に反射する陽光は目を射るばかりだ、午前十時五十分先づ〇〇提督は〇〇參謀長以下幕僚を從へ旗艦〇〇から〇〇港棧橋に颯爽として上陸、陸軍側の上陸を待つ間もなく同十一時廿五分〇〇司令官は港外に碇泊する〇〇〇から幕僚を帶同、南海の潮飛沫を浴びて棧橋に到着、しばらくして〇〇樓上に於て海陸兩軍首腦部の歷史的會見が進められ兩軍の緊密な協同作戰の實行を約して前途の成功を祝し同十一時四十分榕樹繁る表玄關に於て相並んで記念撮影を行ひ、更に正午より〇〇〇大サロンに於て午餐會を開催、海軍々樂隊の奏樂裡に〇〇將軍先づ起立して聖壽の萬歲を三唱すれば〇〇提督これを受けて從軍將士の健康と武運の長久を祈り祝宴に入り同一時半最後の打合せを了し愈々目的地に向ふべく南支敵地に於て目出度き再會を約して散會した

李宗仁、繆培南 防衛指揮に任命

【香港十五日發國通】支那側報道によれば、蔣介石は廣東防衛のため李宗仁を第四戰區司令に、繆培南を前敵總指揮に任命した、尚蔡廷楷、蔣光鼐も既に廣東にあり前線の指揮作戰に當つてゐると言はれる

廣東、汕頭周圍二百粁 近く激戰を豫想

南支最高指揮官各國に通達

【香港十五日發國通】わが南支方面最高指揮官は本日わが香港總領事館に對し左の通告を列國使臣並に政廳當局に通達するやう電報し來つた

近く廣東周圍二百キロ汕頭周圍二百キロの圓形内に激戰が豫想されるを以て第三國自動車はその圏内に入らぬやう注意されたい、右はヒューゲッセン大使の例の如く上空より車上の標識判明し難く、よつて安全通過は保證し難く若しこの圏内に入らんとするものは各人の危險に於てなされ度い

よつて中村總領事は政廳當局及び香港駐在米佛獨伊領事に文書を以てこれを通告した

惠州に入城

【東京國通】大本營陸軍部發表＝下涌墟にて通信員報＝上陸部隊は進擊また進擊十四日夕刻早くも惠州を距る一キロの地點まで進出し南方及び東方より一齊に攻擊を開始した惠州は北に東江の流れを背負ひ周圍には大小無數の湖水が點在し敵はその湖水と湖水とを結ぶ山岳地帶に散兵壕を設け前面に無數のトーチカを構築、後方に砲兵陣地を配し頗る堅固な防備を施し特に南方地區の防備は水も漏さぬ有樣でこれに加ふるに〇〇防禦の第一據點であり兵站基地として重要性をもつ丈けに余漢謀は第百五十一師長莫希德等にこの地の死守を命ずると共に博羅その他から盛んに兵力を集中してゐたがわが諸部隊は折柄熱帶特有の車軸を流すやうな豪雨沛然たる中を濡れ鼠となつて猛攻擊を加へ、砲彈雨飛の中を潛つて鐵條網を破壞トーチカ陣地を突破物凄い野戰を展開十五日早朝つひに各部隊猛然惠州に突入し感激の日章旗を翻したのであつた、かくて午前七時十五分完全に殘敵を掃蕩し同九時軍旗を先頭に諸部隊は堂々惠州に入城した

汕頭、海豐を爆擊

【香港十五日發國通】汕頭支那側來電によれば、わが海軍機は十四日午前、午後に亘つて汕頭を猛爆、潮汕鐵道停車場を粉碎、更に午後六時海豐を爆擊した、汕頭の人心は極度に動搖し當局は既に避難命令を出し、晝夜兼行で防備を固め戰々兢々たるものがある

廣九線の國境 外運轉休止

【香港十五日發國通】廣九線英國側當局は十四日午後五時香港政廳の命により、十四日以降列車は粉嶺を終點とする旨を佈告した、これにより深圳から國境を越えて英領に避難する支那人は深圳から粉嶺迄徒歩で行き九龍行きの列車に乘らねばならなくなつた

鐵兜山を攻略

長竹園本陣地に殺到

【新店十五日發國通】商城、麻城街道を扼する大別山第二陣長竹園（新店南方八キロ）攻擊中のわが部隊は十四日夕その東北側に聳える前線陣地鐵兜山を猛攻十數時間にして奪取、蕭々たる秋雨の山頂に日章旗を揚げるや敗敵を追擊して長竹園の本陣地に殺到攻擊中である、敵はわが右翼部隊前面の將軍山とゝもに長竹園を左翼方面における抵抗據點となしその前面には長さ一キロ半に亘る二筋の塹壕を構築、この堅陣によつて必死の抵抗を續けつゝあり、彼我の戰鬪は激烈を極めてゐる

肉彈、西寨山占據

石灰窰の死命を制す

【上海十五日發國通】艦隊報道部十五日午前十一時半發表＝海軍陸戰隊は本日午前八時卅分石灰窰の關門西寨山を占領せり

【九江十五日發國通】十二日蘄源口に敵前上陸した海軍陸戰隊は當面約二個師の敵を擊滅しつゝ江岸傳ひに猛進、十三日夕刻には早くも西碧山々麓の孤蟲道士狀を占領、續いて十四日終日敵の十字砲火に全軀を晒して岩を攀ぢ草の根をつかんで壯烈な登攀戰を敢行、徹宵猛攻を繼續し敵の怯むに乘じ十五日拂曉全部隊一塊りとなつて突擊を敢行、九時卅分白兵戰をもつて西碧山を占領した、西碧山は大冶鐵道の起點及び大冶鐵道の外港をなす石灰窰の東方五粁江上に突出屹立する重要々塞で山頂に起てば石灰窰は西方眼下にあり江上艦隊また西碧山の線を突破し石灰窰の死命は玆に全くわが手中に制せられた

駝嶺最高峰を占領

【臨口街十五日發國通】昨日に引續き駝嶺攻略中の德永、畠澤、田口、吉野各部隊は十四日夜數次に亘る敵の逆襲を擊退し、十五日拂曉駝嶺最高峰を目指し攻擊の歩を進め砲兵および陸の荒鷲の低空爆擊の掩護のもとに敵最後の抵抗を擊破しつゝ肉薄、激戰五時間のゝち北方稜線一帶に敵を壓迫して突擊に移り午前十時卅分駝嶺最高峰を占領日章旗を翻へした

【臨口街十五日發國通】山頂の敵陣を占領した駝嶺攻略部隊は萬歲を絶叫する暇もなく直ちに廢敵の掃蕩と敗敵の追擊に移り目下總攻擊を續行中である、敵は算を亂して山を馳け降り敗走しつゝあるが山頂より射ち下すわが追擊砲火に相踵いで倒れ、こゝに德安防備の重要なる一角は遂に崩壞するに至つた

觀音山占領

【張斗岳十五日發國通】富水西北方の重疊たる山岳地帶に雨と泥濘を征服し頑强なる敵精銳の抵抗を蹂躪して奮鬪しつゝある檜川部隊は十五日午後三時觀音山の稜線を完全に占領した、最後まで抵抗を續けた敵は多數の武器、彈藥を殘し遺棄死體累々として横たはり激戰の跡を物語つてゐる

〇〇部隊がわの突入街口臨

外務省人事

【東京國通】澤田外務次官ならびに東郷駐ソ大使以下の外交官異動は十五日發令された

任外務次官（一等）澤田廉三

大使館參事官 宇佐美珍彥

特命全權大使 東鄕茂德

ソヴイエト聯邦駐箚被免

ドイツ國駐箚被仰付

兼總領事（ジユネーヴ）

大使館參事官

獨逸在勤被仰付兼免國際會議帝國事務局次長

大使館參事官 柳井恒夫

兼任總領事（三等）ジユネーヴ在勤を命す

國際會議帝國事務局次長を命す

ドイツ在勤被免

外務事務官兼任

外務大臣秘書官兼 田 [illegible]

任外務書記官（四等）

調査部第四課長を命ず

外務書記官兼農林書記官 加瀨俊一

任大使館一等書記官（三等）

米國在勤を命す

大使館一等書記官 寺崎太郎

任公使館一等書記官（三等）

ルーマニア國在勤を命す

公使館三等書記官 法華津孝太

任大使館三等書記官（五等）

ドイツ在勤を命す

外務書記官 安東義良

歐亞局第一課長を命す

大使館一等書記官 阪本瑞男

イタリー在勤を命す

公使館二等書記官 淺田俊介

國際會議帝國事務局事務官を命す

ルーマニア國在勤被免

内藤一男氏赴任

滿鐵東京支社に轉任した前新京支社弘報主任内藤一男氏は家族同伴十五日午前九時三十分の列車で大連經由赴任の途についた

旅行團便り

廣島縣教育會視察團十九名は十六日午後七時三十分來京大和新館投宿、十八日午後十一時三十分發奉天▲平壤殖銀支店視察團二十二名は十六日午前十一時四十二分來京、午後十一時三十分發奉天▲京城東拓視察團二十二名は十六日午後八時十五分來京、十七日午後三時二十五分發奉天へ

大日本航空會社 愈よ新設

【東京國通】支那事變の進展に伴ふ東亞の新事態に即應すると共に世界の情勢に對處するため民間航空輸送事業の國際的一大伸暢をはかるために は從來の航空輸送事業の面目を一新しこれを統合一元化して事業の基礎を一層鞏固にする必要があり遞信省航空局に於て種々研究中であつたが今回新たに大日本航空株式會社を設立して從前の日本航空輸送株式會社（資本金一千萬圓）國際航空株式會社（資本金五百萬圓）を統合合併することに決定、十四日の閣議で承認を經て十五日發表された

新會社は全世界に航空路を延長しやうとするもので國内幹線航空路及びわが國を基幹とする國際航空路の經營はすべて新會社に當らせまた從來日本航空輸送會社に交附してきた補助金はいづれもこれに支給される事となり、新會社は大體十二月開業を目標として十一月初めに創立總會を開くべく目下設立準備を急いでゐるが、當局はなほ之を以てしても立遲れのわが國空輸事業を急速に世界水準に引上ぐる事不充分なりとし愼重に第二段の方策を考究中である

人事往來

▲中村三郎氏（會社員）十五日來京ヤマトホテル

▲伏木卓也氏（滿洲醫大教授）同

▲佐藤憲氏（醫師）國都ホテル

▲鈴木完一氏（日滿商事）同

▲上野厚氏（日本石油）同

▲富谷可一氏（同）同

偶語

史上空前の敵前上陸を敢行したわが皇軍の精銳は疾風の如く早くも惠州城を占領した▼大本營海軍部の發表によれば今度の作戰にかゝる名にし負ふ荒海の南支那海が終始極めて平穩で▼波なく明月皎々と照つてさながら我作戰を掩護するかの如き狀態であつたことはひとへに神の加護によるものであると將兵一同感激しまた意を强くしてゐる▼とまた大本營陸軍部發表の〃神助添けなし〃……の名文にも崇かなる神明の加護を讃仰してゐる▼由來神國日本は神武天皇の往昔より戰ある每に天佑と神助の顯現は靑史に燦と傳へられるところである▼これ一に忠勇義烈の將兵の働きを嘉されての神の御加勢であるにかゝはらず將兵は神の御加護によつての戰捷なりと衷心神明を尊崇するところに世界一神國日本の姿が見られるのである

本日秋季撮影競技大會開催

屋外の運動は我々滿洲に在住する者には最も必要で有る事は今更申上ろ迄も無い事でありますが殊に現下非常時局に際して健康の增進を畫る事は更に緊要な事でありましよう此の秋に當り寫友會は同志相計り趣味と健康こをタイアップして秋の大同公園をバックに多數麗人をモデルに撮影競技大會を催し今シーズンの掉尾を飾り度いこ思ひますカメラマン各位奮つて御參加日曜の一日を有意義に活用せられん事を切望致します

一、場所　大同公園

一、日時　十月十六日（日曜日）午後一時より開催

一、モデル　ミス市洋社交係三十餘名參加

一、審査　寫友會に一任せられたし

一、印畫締切　十月三十一日當日迄に中央通り森洋行へ持參又は郵送の事

一、印畫大サ　キャビネ以上枚數制限なし（應募印畫は返却致しません）

一、賞品　一等賞大優勝盃　二等賞より五等賞迄優勝盃　外佳作三十名賞品進呈す（但し一人一賞とす）

一、發表　入選印畫の發表及展覽場所は追而發表す

主催　新京寫友會

後援　新京日日新聞社　森洋行

社説

大陸移民の諸問題

滿洲への日本人農業移民の入植は着々と進みつゝある。曾つては邦農入植の不可能さへ論ぜられたことがあつたのを思へば、情勢は異常に變化したものだと言はなければならぬ。滿洲移民の實狀等についての日本人一般の理解もかかる情勢の變化に伴つて相當進んで來て居ると思はれる。しかしなほまだ一部には、この移民問題の本質的な内容について認識するところ少く、誤解を持つたまゝ滿洲に入つて來るものなどもあるのではあるまいか。斯くては當人の不幸たるはもとより、移民事業進展のためにも障害がもたらされることとなるであらう。拓植事業の任に當る諸機關等は宜しく更に一層移民問題についての正しい認識を徹底せしめるために努力すべきであらう。

筆者は先般、移民事業に關係してゐる人々の意見を聞いたのであつたが、それら專門家の語るところによつても、現在の移民關係の各官廳、機關が複雜に分岐してゐることは種々の不便不都合を來さしめてゐるやうである。それら各官廳、各機關がそれ〴〵にその任とするところに向つて努力してゐるであらうことは信じられるのであるが、このやうなシステムの複雜さがおのづからその間に仕事の重複や連絡上の障害などを來し易いものであらうことは推察出來るのである。このために、移民の指導者にしてからが、各機關の本來の任務について理解を缺くといつた實例を生じてゐるのである。宜しくこれは適切な是正が實施さるべきであらう。

移民に對しての現下最大の必要は、やはりその諸施設を充分にするといふことであらう。衛生、敎育、物資配給等の諸點に於いて果して遺憾のない施設が行はれてゐるであらうか。われ〳〵は此のことを深く憂ふるものである。さらにまた根本に進んで、移民が今後いかにしてその仕事を進めてゆくべきか、農耕、經營、配給の諸部門に亘つて基本的な指導の線は確立されてゐるのかどうか。もはや移民がはじめられてより相當の實際的經驗は積まれたのであるもとよりすべての成績に評價をあたへるにはこれだけの年月を以てしても決して足りないであらうか、もはや基本的な指導方針は確立されなければならないであらう。さうでなければ、これからますます數多く入植して來る移民たちがさらに實際に多くの損失をせねばならないであらう。今までは入植せしめるといふその事だけに追はれてゐたといふ事情も察せられないではないが、もはや事態は變つて來た筈である。われ〳〵は此の上とも當局、諸機關に周到の施策あることを望まざるを得ない。

敵前上陸敢行した バイヤス灣とは

海賊の根據地=横山中佐語る

【東京國通】南支進擊部隊が敵前上陸を敢行したバイヤス灣とはどんなところか一昨年十二月から昨年十一月迄〇〇部隊幕僚として南支方面の軍務に從事してゐた現海軍省參謀副官横山一郎中佐に聞く

バイヤス灣は由來海賊の根據地として有名でこの附近の漁船、ジヤンクは總て海賊で舊式とは云へ五センチ八センチの大砲をはじめ小銃、機銃などを持ち、一時は隨分暴虐振りを示したものだ、灣岸の部落は漁村らしくもなく高層な建物が隨分あるが、恐らく海賊の部落であらう、この灣は水が深く上陸に適する海岸で左方に排芽山砲臺があり、海岸到るところにトーチカ、塹壕などが築いてあつた、平常灣内は非常にうねりが强いのだが上陸當時は低氣壓が他にあり殆んど風がなくうねりがなかつたのは天祐だ、併し風が吹かないだけに上陸部隊は暑さに非常に苦しめられたことゝ思ふ、この邊は十一月はじめ迄夏服を着てゐる、兎に角今度の南支進擊は南で苦勞して來たものにとつては溜飮が下る、廣東の余漢謀汕頭の李魂連中と來たら實に不遜な態度で昨年二月頃廣東に吾々が上陸した時はサイドカーで周圍を取卷いて監視の眼を離さず、こゝだけは護衛附だと吾々は笑つたものだ、淡水と云ふのは小さな部落だが、廣九鐵道迄大體卅キロで居留民引揚げなどに苦勞して來た當時を思へば實に痛快至極だ

カー駐支英大使 十八日漢口へ

顚落蔣政權を打診

【上海十四日發國通】皇軍の武漢進擊戰を上海にあつて見守つてゐた駐支英大使カー・アーチボルト・クラークカー氏はわが精鋭部隊の南方奇襲上陸によりいよ〳〵蔣政權の命脈旦夕に

迫る

を悟つて來る十八日上海發のエムプレス・ルシア號で香港經由漢口に向ふことゝなつた、右はカー大使のかねての計畫を繰上げたものでわが軍の南方上陸に對する英國側の驚きが推察され今回の訪問で恐らく武漢最後の日を目擊することゝならうが、既に蔣政權の行政機關は漢口を逃避してゐることゝて暫時最高統治者たる蔣介石と直接折衝を行ひ

一、武漢陥落後の蔣政權の方針

一、地方政權へ顚落せる蔣政權の國内の統制力の變動

一、抗戰繼續能力

等の打診を行ふと共に英國の最大關心事たる在支權益の擁護に關し蔣の責任ある言質を得んとするものゝ如く且つまた蔣政權最後の地盤たる西南各地における利權獲得が交換條件となり援助問題にも觸れる模樣である、かくして蔣介石としてはこの際如何なる犠牲を拂つても英國の援助に縋るべく特に顚落後の蔣政權に對しても依然として中央政府たるの資格を繼續して承認せられんことを求めるものとみられ戰局の最後的段階におけるカー、蔣會見は極めて重要な意義をもつものとして注目され、また途中の

危險

を冒してまでも落城寸前の漢口に乘込まんとするこのカー英大使の決心は相當悲壯にして重大なる決意あるものと推察されてゐる

チエコ分割は 弱國の好敎訓

蔣側機關紙大公報所論

【北京十四日發國通】蔣介石側の有力紙大公報は「歐洲危局の敎訓」なる論題の下に左の如く悲觀的所論をなしてゐる、即ち

チエコの分割は總べての弱小民族にとつて敎訓となるべきことが少くない、國家は如何なる時においても自己鍊重の必要を認識すべく他國の援助が如何に當てにならないかについて反省すべきである、チエコ問題は所謂同盟乃至協約なるものゝ無價値なる事を證明したもので、この點も吾人の銘記すべきところである、要するに英米佛等の列强は結局强い國に味方するのであつて、自國を犠牲にして迄他國の國難を救つてやるといふが如き事はないことを暴露したもので、支那がこれ以上積極的に日本軍に抵抗することが出來るなら兎も角若し不可能とすれば列國の態度も亦チエコに對してなしたと同樣であることを知るべきである

と蔣政權治下の國民に警告してゐるが、この記事は國民の士氣を振作するどころか逆に國民に對して悲觀的氣分を注入したものとして識者の間で問題となつてゐる

シヤム國政府

ソ聯人の入國禁止を布告

【香港十四日發國通】バンコツクより十四日香港に入つた電報によれば、シヤム國政府は十三日ソヴイエト人に對し入國を禁止する旨正式布告を發した

廣東軍第一線 早くも浮足立つ

【香港十四日發國通】十四日朝より午後にかけてわが空軍の廣九、粤漢兩鐵路および惠陽、陸豊の爆擊は劃期的成果を收め廣東軍第一線は早くも浮足立ち大動搖を來してゐる廣九線は隨所に切斷され自動車道路も各所に不通となり、香港、廣東間の陸上交通は一切杜絶するに至つた、特にその間の重要橋梁が破壊され復舊容易ならざる點より支那軍に與へた打擊は甚大で劣弱なる廣東軍首腦部が如何に狂奔するとも今や抗日作戰遂行は殆んど不可能と見られてゐる

謎のブ將軍の 軍司令官剝奪は確實

アバス通信の報道

【パリ十四日發國通】ブリユツヘル元帥に關する確實な消息は未だに不明でその運命は依然謎の中に殘されてゐるが十四日アバス通信社モスクワ支局はブ將軍が極東方面軍司令官の地位を離れたことだけは既に疑ふ餘地がない旨次の如く報道してゐる

ブ將軍が極東にゐないことは確實である、從來極東軍に與へられてゐた結圏の權は既になく、極東軍は第一第二の兩軍團に分離され、第一軍團司令官にはシユテルン將軍、第二軍團司令官にはコニエフ將軍がそれぞれ任命され直接指揮に當り第一軍團の本部はハバロフスク市に、第二軍團の本部はワラシーロフ市に置かれてゐる、なほシユテルン第一軍團司令官はブ將軍の參謀長であつたが、コニエフ將軍の經歷は不明である

滿洲農學會 第六回大會

滿洲農學會第六回大會は十五日午前九時より軍人會館において會員その他約二百名參集して開催、橫瀨棉花公司副董事長の開會の辭に次で會務報告、四年度決算報告、明六年度豫算審議の後會長徐紹卿氏の駐伊公使榮轉並びに副會長橫瀨花兄七氏の滿洲棉花公司副董事長就任に伴ふ役員改選を行ひ、新會長に香村公主嶺農事試驗場長、副會長加藤大陸科學院研究官、幹事井上產業部技佐、高杉興城試驗場長等を可決し、ついで前副會長橫瀨花兄七、松島鑑(特產中央會專務理事)鈴木梅太郎(大陸科學院長)の三氏を滿場一致顧問推戴に決定、引續き九州帝大川島祿郎助敎授、大陸科學院鈴木梅太郎院長、民生部敎育司長田村敏雄氏、東大丹羽敎授等の特別講演に移り午後は會員の研究發表を行つた、なほ同大會は十六日も午前九時より同所に於て終日會員學徒の滿洲產業、地質等に關する一年間の研究の集積たる研究發表が續行される筈【寫眞は同大會】

國防皇軍慰恤献金品〔本社取扱〕

一金二萬五千四百七十四圓九十九錢五厘(關東軍司令部)
一慰問袋千三百五十個(同)
一金七十圓軍用家畜慰問金(同)
一金三百圓也(國防館基金へ)
一金五千一百六十八圓三十四錢(駐滿海軍部へ)
累計三万一千十三圓三十三錢五厘
……十月十四日迄の分……

國婦指導部講習所第一回卒業式

滿人婦女に對し日語、洋裁その他一般常識を敎へて指導に當つてゐる滿洲國防婦人會指導部講習所第一回卒業式は十五日午前十時より關東軍兵事部副官富塚少佐、民生部敎育司尹督學官の臨席を得て同所講堂で擧行、新京副支部長關屋副市長夫人の開式の辭により開式、晴れの卒業生二十六名は副會長孫民生部大臣夫人の手より卒業證書を授與され日本語も高かに「螢の光」「仰げば尊し」を唱つて同十一時皆川協和會總務部長夫人の閉式の辭で閉會した(寫眞は卒業式)

滿洲國使節團 東プロイセンに

【ケーニヒスベルグ(東プロイセン)十四日國通友松特派員發】ポーランド訪問を終へた滿洲國使節團一行は十四日當地に到着した、東プロイセン大管區知事エリツヒ・コツホ氏は特に一行のため歡迎會を開き、席上コツホ知事と韓團長は交々起つて滿獨の親善關係を謳歌する演説を行つた

手形交換高(十四日)

三三〇枚 二、二七、三三一〇

歷史と人物を通じて觀る 南支文化の中心廣東

阿片戰爭で上海と共に開港

廣東は孫文の滅滿興漢革命の發祥地であるため、漢民族の精華こゝに鍾まるかの感を與へるが、この南支那の地は初めから漢人の天下であつた譯ではない、現在の南支那、極めて大ざつパにいつて揚子江以南の地は古代においては越、南越、百越或は粤といはれ、印度支那を本據とする越民族の土地であつたのである、この越民族は、實に南支那はもとより南アジア大陸一帶にわたつての基礎的人種であり彼等はネグリートや馬來系統のインドネシア族を征服し、更にインドネシア族に文化的影響を與へたものとされてゐる、一方黄河流域に充滿した漢民族は豐富なる天惠を追つて次第に南下し、揚子江沿岸に繁殖し次で南方の珠江流域に發展し、先住民族を驅逐征服し更に之と血統的混淆を遂げた、南支那の先住民族一般に冠せられてゐる越といふ名は越王勾踐に出ると言はれるが、福建地方の越が閩で、安南地方の越が駱と言はれたに對し珠江流域の越は陸梁と文獻に記されてゐる、秦の始皇は今より二千百五十餘年前、詳しく言へば西暦紀元前二百十四年に大兵を發して此陸梁を討伐して漢民族の南支那統治に決定的基礎を作つた、漢人の南方進出は右に初まつた譯ではない

大禹が三苗を三危に驅逐した事、周の末期に南海の人高固楚に相たるにおよんで蠻族蠻々の天地南支那が次第に漢族の文化の光がさし初めてゐたのであるが、秦の始皇は討伐に續いて大量の移民を敢行し珠江の下流、現在の廣州市附近に南海郡を、廣西には桂林を、安南には象郡を置いて漢民族の南方進出を決定づけてしまつたのである、その後支那の朝廷は幾度か代り、或はその威南海に迄及ばぬ事もあつたが、民族だけは野の草の樣に强靱、執拗に蔓つた

□

前漢では武帝が現在の廣州附近に番禺縣を置いて南海郡の治となし、後漢の獻帝の時には交州に刺史を置いたが、隋では南海郡に復活、宋では廣州と呼び廣南東路に屬するとした、現在の廣州、廣東の名はこゝに生れたのである、漢人南從のこの長期間に於て侵入民族たる漢民族を中心として先住の越民族との間に系統的統一、民族の渾成が行はれた、同じく漢人と稱するも彼等自ら北方人に異ることを自覺し、我々日本人から見ても明かに違つた印象をうける廣東人の本質はこの南方民族との血的渾成の點にあるのかも知れない、日本において一般に廣東と呼んでゐる廣東省の首都は正確には廣州市であつて、歐米人は省名の廣東(KUANG-TUNG)と區別して市を(CANTON)と書いてゐる、これは十六世紀のはじめポルトガル人がCANTAOと綴つたのに初まるといふ、秦の始皇帝の經略以前既に廣東と南海(南洋)との交通は相當進んでをり外國の珍貴な品々がこゝに集つてゐたらしい、始皇帝が嶺南を經略したのは象牙、翡翠、犀角等の南方の產物を得んがためであつたとさへいはれる位である、廣東は當時雲南、貴州方面の夜郎國とも交通があつたが漢の武帝は廣東を足場としてこの夜郎國を討伐してゐる

□

晉代になると海外交通も本格的となつて、大秦即ちローマの使者が廣州を經由北上してゐる、唐代には外國貿易を司る市舶司が置かれ當時の世界的貿易人アラビア商人が印度經由廣州に雲集した、支那の文獻には唐末における廣東のアラビア人の數は萬を以て數へたとある、この數には支那一流の誇張があるかも知れないが、現在廣州市内には懷聖寺と言ふアラビア寺院(再建)があり、寺内の光塔は當時のまゝ保存され廣東回教徒の最も尊崇するところとなつてゐる

廣東及び西南の回教は北方コースによるものではなく實に廣東を門戸とする南海コースによつて傳來したものである、廣東の海外貿易は宋時代に於ても尚榮えたが元になつてからは福建の泉州に移つてしまつた、泉州の方が廣東より元都に近い事、氣候の溫和であつた事などがその原因であらう、明の海外政策は消極的でポルトガルは一五三七年に澳門を占領し、一五七八年より一六四〇年迄の約七十年間ポルトガル人は明朝より廣東貿易を許され、廣東は澳門との貿易によつて繁榮した、この關係は現在の廣東と香港の關係と全く同一である、十八世紀の初葉より印度の阿片が支那にその販路を見出し、一八三九年には英支間に阿片戰爭が勃發し、一八四二年には南京條約によつて廣東は上海と共に開港場となつた、爾來廣東の貿易額增加は香港の發展のおこぼれを拾つて續けて來た、次の西本白川の詩はこの廣東の狀況をよく謳つてゐる

花は五嶺に明に
月は三江に白く
地は雄澤
氣は酒勁
恨む吸煙流毒三百年
外之が爲に開き
東人始めて西人に敗る
吁、羊城の行商七十二行
忍で看る香港、春潮急なり

大アムールを下る
江防艦隊に便乘して（二）
老翁流血の慘を語る　勿忘此奇辱就
艦列は鋭い監視の間縫ふて　問題の乾岔子島へ

□乾岔子水道に立ちて

江水をけたてゝ艦列は進む、對岸ブラゴエシチエンスクもいま朝餉のさ中であらう、パンを燒くガワンカのけむりがあちらこちらに見える、然し滿領黑河の街の空にもく〳〵と、豐かに立こめた煙りのそれに比べやうもない遙か下流のアムールに注ぐゼーヤ河口が廿ノットの速度でぐん〳〵眼の前に近まつて來る

この邊りからソ領江岸には大小の監視哨舍が目立つて多くなつた、特に注意を惹いたのはゼーヤ河口造船所の下手岸に長さ百メートルにも及ぶ木造の背の低い一見巨大な材木置場の樣な建物だ

あつかましいソ聯も流石あのでかいトーチカには氣がさすと見えてあんな擬裝をしたんです

と士官が双眼鏡を向けながら敎へて吳れる、艦はぐつと左舷を江岸二百メートル位にすりつけて江を下つたが、江面から三、四尺の高さにポッカリと口をあけたトーチカの銃眼はこの河口一帶だけで十五六はあつた、ソ聯は一朝有事に備へてゼーヤ造船所ならびに一帶の據點を確保するためにかくも物々しい軍事施設を施してゐるらしく、途中のトーチカ地帶を通航中ソ聯監視兵は絕えず注意深い瞳を艦列に注いでゐた

◇……瑷琿の……◇

街に五キロばかりの上流に差かゝつたとき、對岸に向けてゐた記者の双眼鏡にキラリ映し出されたものがある、光るものと艦との距離は次第に狹まる、一つ、二つ、三つ、七つまで數へられたものは佩劍だつた、草色の帽子に黑の長靴、肩からピストルを帶びた一人の將校を混へたゲ・ペ・ウの一團は、江沿ひのもう枯れかゝつたすゝきの小徑を艦に並んでどこまでも追かけやうとしてゐるのだが、やがて路もつきと江岸から外れたらしく上半身をのこしてゲ・ペ・ウの姿は遠のいた、行手右舷の雨雲の中にぽつんと古い鐘鼓樓が浮び出た、歷史の街瑷琿だ

カッターを下して有名な瑷琿屈辱條約締結の古跡を訪ねたが、卅八年前のアムール流血慘事を目擊したといふ今年六十歲の縣立優級學校長王純梁氏は、われ〳〵一行を校庭の一隅に導き、高さ一間ばかりの古びた木標を無言で指し示した、風雨に曝された碑面はもう大分讀みづらいが、それでも

諸君們要牢記左列史蹟、諸君咸豐八年奕山將軍時代俄國强制割讓江東六十四屯此瑷琿之條約每一懷想甚恨甚恨我等勿忘此奇辱就是男子之勇氣

と讀まれる、ふと目を對岸に移すと檣に組んだ監視哨の上から銳い視線を受けてゐた

◇……歷史の……◇

街瑷琿を後にした艦列は針路を南にとつて拔錨したが、此處から小五家子、大五家子の部落を過ぎソ聯のオーゴスキーにかゝる迄は相變らず半里置き位の間隔を置いて監視哨はあるが、別に肉眼ではトーチカの類は見られない、オーゴスキーの街は、昔は對岸滿領馬廠との交易で榮へた街だつたとは聞くが、今は一般民は居住してゐないらしく、二、三、道行く者をレンズで見たが何れも正服のゲ・ペ・ウだけであつた、江岸には一隻ソ聯の警備艇が錨を下して居たがこちらの堂々たる艦列に威壓されたものか靜まり返つてをり、只一人艇長らしい男が頻りにこちらをさり氣なく窺つてゐる、しばらく姿を消してゐた江岸のトーチカは四季屯を過ぎて所謂江東六十四屯の割讓で有名なホルモルジン（霍爾莫津）に至る間に物凄い形相を現はしはじめた

大小とりどり廿數個のトーチカは、或は方形に、或は土饅頭形に至る所に築かれてゐる、中には現在明かに工事中らしく十數名の勞働者が頻りに江岸を掘り返してゐた個所が二、三あつた、またホルモルジン對岸中洲の第百五十一號標識附近には移動哨舍と覺しき三張の大テントが張られ附近には軍馬四頭がいなゝいてゐた

◇……記者は……◇

驀進する艦中より木造平屋建の監視哨附近に張られたテントをソ聯兵と共にカメラに收めたが、寫眞に撮られたと氣付いた監視兵は狼狽てゝ屋內に逃げ込んだ

朝から氣遣はれた空模樣も艦が問題の乾岔子島に差かゝつた時、橫なぐりの氷雨となつて艦橋に吹つける、北緯五十度、シベリアの風は痛い、思はずシューバの襟を立てゝ前面に展ける雨中の南北水道を見渡して緊張するうちにも定邊、親仁、順天、養民の四艦は針路をピタリとソ領ノウオペトロウフスキーに向けてぐん〳〵進航する、午後四時五十分、艦列は一昨年のソ聯砲艦擊沈の思出も生々しい記者の緊張を乘せて水道に入つた

視界は煙つて遠くは利かぬが金阿穆、乾岔子の兩島は低く江面を這つて果しもなく擴がり、黑龍の激流に洗はれてゐる、岸邊の蘆荻の中に一羽の鷺が荒凉とした一幅の國境風景をつくりあげてゐたが、艦影に驚いてぱつと飛び去る、滿洲國商船の水道通航每に絕ず不禮な行動を繰返したソ聯砲艇の影も見えない、水道にかゝる迄にコンスタンチノフスキーの江岸で見たソ聯の砲艇あたりが或は後をつけてはゐないかと遙か後方を見渡してもそれらしい影も見えず艦の方に長い水尾が何處迄も續いてゐるだけだ、約一時間にして水道を通航した艦は、昔ニジネカンカとロシア式に呼ばれてゐた高雛部落を過ぎ江面も漸く暗む頃チカト（奇克特）の街に錨を入れた【寫眞はソ聯監視兵及び天幕と岸監視哨】

讀者の頁

美男子樣（御返事）

なまけ者のヒョーホン迄に怒つたね、是れで妾滿足したワ何程なと怒りなさいダ、そして又云ふ事がいゝよ、何うせ下街女に成るとかカフエーの女給が關の山だとか、フヽン笑はすなよ辻台君、何に成らうと勝手ぢやないか、それから妻に等仕樣と思つて來るんぢや無いんだつてね、タクサンよもうそんなの、笑はしちや困るよオトボケサン、お前達におよめにでも行かなければ成らない樣なら死んだがましさ、フフフフン、どうせカフエーとか、オデン屋とか、ホールとか、女郎屋より遊ぶ所も知ら無い樣な男のクヅと夫婦に成つたつては口はタナさ、其んなの家庭の人として一文のカチ無し、女に糞の樣に云はれてもハイ〳〵と頭下げて居ればそれで良いの、何でも無ければ怒るな、キヅ有ればこそ痛たむだらう、藍午れ仕樣、妾達ダンサーも止したらカフユーの女給に成つて下街女に成ると定まつてはゐませんからね、あたりまへの事云はれても怒る樣な小心者どうせ一生三下野郎で終る奴妾の主人にピョコ〳〵頭を下げさせて見せる事を誓つてサイナラよ、まあ懸命にノタウチマワリナサイ（下街女ノ頭目）

映畫をもつと安く見せよ

樂シミノ少ナイ新京デ、マシテ女子供マデ待ツテヰルニユースヲ見ルタメニ行ク活動館ガナゼアンナニ高イノヲ警察ガ許シテヰルノデセウ、今少シ、ナントカナラナイデセウカ、活動館ヲ持ツテヰル人ハ皆大モウケヲシテヰルデハアリマセンカ、時節柄皆商賣ナドモ大シテフルハナイノニ、花柳界ト活動丈ケハ大成金ニナツテヰマス、ドウカ金ノナイ多クノ人ニ安クテ見レルヤウシテ下サイ、ケイサツノ方ガヨクシラベテ下ダサイ、オ願ヒシマス。（子供の母）

壺蘆島築港
計畫擴充に修正

鐵道總局は阜新炭の輸出をはじめ產業開發實踐に伴ふ遼西方面輸出入貨物の激增に備へ大連、北鮮經由の二大航路のほか壺蘆島航路の開設を企圖し昭和十一年以來總經費二千萬圓、呑吐能力三百五十萬トンを目標に壺蘆島築港五ヶ年計畫に着手、三年目たる現在迄に第二、第三兩埠頭の基礎的工事を完成、呑吐能力も昨年開港當時の六萬五千噸に比し約三倍の廿萬トンに到達したが、產業五ヶ年計畫の飛躍的發展と事變以來の對北支關係緊密化等により壺蘆島築港はいよ〳〵重要性を增しつゝあるので今回右築港計畫を再檢討の結果更にこれを修正擴充し總經費三千萬圓、呑吐能力四百萬トンを新目標として引續き計畫遂行に邁進することゝなつた、同計畫によれば明年度中に現在の第三埠頭のほか第二埠頭の使用を開始しバースも四バースを完成して呑吐能力百萬トンに到達、昭和十五年度をもつて第一埠頭の建設完了と共に計畫全部を完成の豫定で、これが計畫實現の曉きは滿洲國內產業文化の向上は勿論日滿支間貿易促進に劃期的貢獻をなすものと期待される

自信ある者來れ
新京中央放送局で　演藝放送の新人を募集

新京中央放送局ではラヂオ番組面の多彩と變化を求め、且技能ある士を廣く世に送り出して滿洲演藝界の啓發向上の一端に資し、從來數回に亘つて演藝放送の新人の募集放送を實施し來つたが、本年も愈々左記規定に依り廣く同好の士を募ることゝなつた

演藝放送新人募集規定

一、募集種目は義太夫、清元、常盤津、新內、長唄、筝曲、琵琶、詩吟、小唄、端唄、俚謠、浪花節、漫談、獨唱、歌謠曲、物語の十七種目とす
二、應募者の資格には制限なし、但年齡十六歲以上たること
三、應募は必ず應募者自身に限る、第三者の他の紹介又は之に類するものは一切拒絕す
四、合方又は伴奏を必要とする種目は應募者に於て合方又は伴奏者を取り決めること
五、應募者の氏名は發表せず合格者のみ發表す
六、申込締切は十一月十日限りとす、但し當日の日附印あるものは之を受付く
七、希望者は左記事項を記載せる申込書を新京中央放送局新人募集係宛呈出のこと
□應募種目
曲　目
藝　歷
住所氏名（藝名の場合は本名を附記のこと）
八、銓衡の日時、場所は追つて發表す
九、合格者には放送を依賴す
尚疑問の點は新京中央放送局放送課電二―五二四四、五二四三に問合せれば詳細回答の由である

手島大尉の偉功上聞に達す

【東京國通】去る八月卅日密雲、驟雨を冒して遠く南雄の敵空軍根據地を衝き諸施設を撃破し執拗に反撃して來た敵戰鬪機約廿機に對し寡勢よく勇戰力鬪實に四十分間におよび所在の敵機廿機を撃墜して偉功を樹てた手島秀雄大尉指揮の海軍○○飛行機隊に對し及川支那方面艦隊司令官は九月六日附をもつて感狀を授與したが十月十四日さらに右感狀は上聞に達せられたる旨大本營報道部より公表があつた

第四軍管區の九月中討匪效果

第四軍管區管內の九月中討匪効果左の如し

項目	數
△戰鬪回數	四四
斃匪	一九六
捕匪	三四
斃馬	三六
△鹵獲品	
小銃	九四
同彈藥	一八九二
拳銃	四二
同彈藥	二七八三
馬	六七
牛	二五
洋砲	一
△山塞燒却	二八
△人質奪還	一九
△わが方の損害	
戰死　軍官	二
戰死　士兵	九
負傷　軍官	一
負傷　士兵	二

隆化縣北方で占山匪擊破

熱河省內討伐隊滿洲國軍楠高部隊は十二日午後一時隆化縣城北方二十粁黑溝に蟠居中の土匪（匪首占山）を隆化縣討伐隊、喀喇沁右旗討伐隊と協力三方より包圍攻擊、交戰二時間半にしてこれを北方に潰走せしめ引續き追擊中、右戰鬪における敵の損害は遺棄死體十三、負傷二十五鹵獲品小銃七、拳銃二、小銃彈千、拳銃彈十五　われに損害なし

首都警察廳で修養講演會

首都警察廳では管下滿系警察官に對し講道によつて修養を積ませ警察精神を涵養せんとして市內長春大街天台宗護國般若寺住職釋如光氏を招聘來る十八、十九兩日午前九時より本廳講堂に於て修養講演會を開催することになつた

豆ニュース

▲銀座新道の福天は開業早々大した評判を受けてゐる
▲三笠町の曾我酒家では宴會向きの特別サービスを一般から好評
▲日本橋の電業支店で賣出中の電氣ストーブは七圓五十錢から色々、冬を迎へる家庭から人氣を博してゐる
▲富士町のやぐらすしではふぐ料理等で食道を喜ばしてゐる
▲中央通りの滿蒙ホテルで別館を新築中のところこの程開館の運びとなつた
▲新立街の新京巡回雜誌社では讀書家に喜ばれてゐるのも道理、配本を巧くやつてゐる、一圓で五、六冊も讀めるとは時局向きである
▲カフエーイナリでは美人を集めてファンを喜ばしてゐるがハルビンの元錄から五名ばかり來來との事、これ又噂の種となりませう
▲甘栗太郎では物價騰貴の折柄これは赤反對、値下げをしました
▲帝都キネマ横のボストンでは粹なバーとしてその道を喜ばしてゐる
▲北村吳服店では十五日より十七日まで三日間祝町太子堂にて在滿三十五周年記念謝恩多物藏ざらへ大賣出しを開催する
▲カネタ製麵麴工場の特製カステーラは斷然ウマイ
▲三中井で第三回けてもの展を十九日まで開催する、相當な掘出物がある由
▲一名新吉原をもつてデビューしたる五馬路の花街は每晚押すな押すなの盛況を呈して居りますヨ
▲平本洋行では來る二十二日から恒例の抽籤全額拂戾し賣出しをやります

コドモページ

軍艦旗のおはなし

攻むるも守るも黒鐵の……勇壯なる軍艦マーチを聽くと軍艦旗がヘンポンと翻るのを思ひ出しますネ、旭日の美しい軍艦旗は、何時頃に制定されたのでしやうか今日は軍艦旗のおはなしをいたします

◇

無敵日本海軍の武威を輝かす勇ましい軍艦旗が定められたのは明治二十二年十月七日。全艦艇が一齊にはじめて掲揚したのが同年十一月三日、今年はその五十年にあたります。旭日の美しい現在の軍艦旗が定められぬ以前の軍艦は國旗の日の丸の旗をかゝげてゐましかた

□商船と同じ旗では困る時もあるために菊花御紋章の十六花瓣を意味する十六條の光線を付したこの軍艦旗が制定されたのです。正しい軍艦旗は地色は白、日章と光線は紅、日章の中心は旗面の中心より風上の方へ偏すること縱の六分の一

日章の徑は縱の二分の一、光線の幅は十一度四分の一光線間隔は十一度四分の一旗の大きさは横が縱の一と二分の一と定められてゐます。日章の中心が風上に偏するのは海上の強い風に旗が切れても中心に日章があるやうに見えるためです。

軍艦旗は陸軍の軍旗と同じやうに尊いのです、たゞ聯隊旗は大元帥陛下から親授あらせられますが軍艦旗にはそのことがありませんこれは

□軍艦旗は戰時でも平時でも常に軍艦に掲揚しますので雨風にうたれ煤煙に汚されます、海上では常に國籍を明かにする必要があるので新しい旗を掲揚必要があるためです、軍艦旗を掲げる軍艦はどこの國に行つても、外國の港に入港しても帝國の郷士と同じで外國の法令に服することがありません。軍艦旗こそ軍艦の精神です、日の出とともに掲げ、日沒とともに降しますがこの時は『君が代』を吹奏し

□後甲板に整列して海軍敬禮式で莊嚴に行はれますまた軍艦では軍艦旗の傍に至るときは必ず擧手注目の敬禮を行ふのです

▲海軍陸戰隊の軍旗は軍艦旗です、今度の支那事變で上海その他で壯烈な敵前上陸を行ふ陸戰隊の勇士が軍艦旗を先頭に進擊する旗姿は皆さんも寫眞やニユース映畫で見られたでせうまた戰鬪の際は軍艦旗はマスト高く掲げられて味方の勇武を鼓舞します。黄海の海戰日本海の海戰や今度の事變で艦旗のひるがへるところ、日本海軍の武名はいよいよあがるのです。軍艦旗制定五十周年を迎へて、いろんな記念事業や催物も行はるのもその譽を讃へるためです

いつまでも倒れない卵のかるわざ　種あかしを致しませう

お友達の集つたところで、卵を縱でも斜でも、自由自在にいつまでも倒れないやうに立てゝ見せると、みんながびつくりします逆立ちしたり或ひは斜めに立つてゐたりする

曲藝 をやつてみせます　この卵は實は、次のやうな仕掛けをしておくのです。先づ卵の殼に、キリか釘で小さな孔をあけそこから中身をきれいに吸ひ出してしまひます。孔はなるべく小さい方がよいのですが、あまり小さいと、中身を吸ひだすことができませんから、注意ぶかく少しづゝ大きくして適當な孔にします。

中身 を吸ひ出してしまつたら、これを二三日放つておいて卵の中をよくかわかします。そして、前にあけた小さな孔から卵の中へ『よくかわいた砂を、大きさの四分の一ほど入れて、孔は小さな紙片でふさいでしまひます。かうしてつくつた卵は、これを手に持つて少しゆすぶりながら、中の砂の位置を調節すると、どこにでも思ふ通りのかくかうで、いつまでも立つてゐて倒れません。これは重い砂がいつも卵の下の方にあつて、上の方が輕くなつてゐるからです。お友達にやつて見せる時には

孔の 部分に紙をはつたところがわかるとまづいから、白い繪具で紙片を塗つて、卵の殼と區別ができないやうに、上手につくります。またなるべく、その部分をお友達の方に見せないやうに氣をつけてやつた方がよいのです。

戰線美談　軍馬のお便りを―記者が代筆いたします　きつとかう書くでしやう

皆サンは、今度物云はぬ勇士、軍馬や軍犬が勳章をいたゞいたことを知つてゐますネ、〃漢口へ！漢口へ！〃すゝむ皇軍のカチドキのなかに、いさましい軍馬のいななきがきこえます。

「あとひといきだ、ガンバツてくれ！」兵隊さんは、汗とホコリでドロだらけの身體を愛馬の身體にぴつたりとよせおもたい砲車を山のうへまでひつぱりあげます。ご苦勞さん！　はげまし、いたはる兵隊さんの眼と、口のきけない軍馬の眼には、涙があふれてをりました。天地をとゞろかす山砲のひゞき！　うろたへ逃げる支那兵の姿が、涙でかすんでみえました。支那戰線にも秋がきて軍馬はとても元氣です。―無言の勇士軍馬クンに、もしもテガミがかけたならみなさんに、つぎのやうな戰場物語を知らせることでせう。

手紙が書けたら

□九死に一生

みなさん、ご元氣ですか。私は滄州カンラクのとき、不覺にも汽車の笛におどろかされ、たかいガケからおつこちて重傷しました。兵隊さんの食べのこりのご飯をいたゞきながら、ひどいぬかるみ道をダンヤクとリヨウマツひつぼつて行軍したーうゑとくるしいつかれからでした。聽診器をかけたお醫者さんは、もうダメだといひました。私の主人は森特務兵、ヒゲだらけのダルマさんといはれる親切な人で、つきゝりで介抱して下さいました。死ぬとおもつてゐた私は七日目になり、フシギや食慾がでて、人參がたべたくなるではありませんか！　ああ、私は九死に一生をえたのです。助かることができたのです。卅七にもなる主人は私のカホにダルマヒゲをおしつけ、コドモのやうにわあわあなきだしてしまひました

□ドロ川の中て

馬廠攻擊のとき、僕は卅五貫もある砲彈をせおひ、ふかいドロ川のなかをあるいてゐた。足がすべる。重い砲彈はかたむきかかる。思はずよろけて兵隊さんの足をふむ。あつ！　しまつたと思つたときは、もうおそい。僕は通信線に足をとられてぶつたほれた。どうしても僕は起きあがれない。齒をくひしばつて主人の顔をみた。すると主人は、「よし！」とばかり、僕の背中から砲彈の荷をとり、自分の肩にかついであるきだすではありませんか、あまりのうれしさに、ドロまみれの顔を主人の背中にこすりよせたら、湯のやうにあついものがこみあげてきました。主人は平特務兵です

□とかれた腹帶

グラグラゆれる橋板をふみはづせば、車もろとも、ダクダク流うづまく川にながされる！　車のおもみで板がはづれ、私は川にころげおちてしまつたのです。三秒、四秒！　もうだめだと思つたとき、ああ、そばでは主人が立泳ぎしながら、私の腹帶をとき、身體を車からはなしてくれてゐるのです私の主人は前野部隊、藤井特務兵といふ方です。「あれは人間技ではない！」とみなさんが感心してゐるとき、私はふかく頭をたれ、何度もお禮をいひました。

□馬にも判る敵

これは今度の戰爭ではなく愛馬に死なれて困つてゐたある將校さんのお話です。敵の將校がおいていつたロシア馬があつたので、これをホリヨにして自分のクラをつけ、のつてゐるうち、ロシア馬はある日スキをみて、敵の陣地へにげていつてしまひました。そこで將校さんが、敵の陣地へ馬をとりにゆくと、どうしても敵はにげて來た馬をわたしません。クラだけわたしたさうですが。將校さんはあとで「馬も敵と味方はわかるんだネ」といつてわらつた事がありました

動物談話室　魚が魚釣りをするおはなし

鮟鱇と云ふ魚は、わが國では至る所の海岸近くで捕れる魚で、其顔つきと云つたら珍無類のもので頭全體が口と云つた樣な無恰好さで、まるで蝦蟇口を開いた樣で、しかも上顎は上の方へそりかへつてゐて、下顎が前方へ突き出して居る樣子などは、とても他には見られない圖であります。又顔形がこんな風だけでなく、運動も至つて鈍い魚で、一日中ちよつとも動かないで靜かに海底の砂の上に坐り込んで魚釣りをやつて居る恰好は、本當に見ものであります。

魚が魚を釣ると云ふと、如何にも妙な事の樣に思はれますが、鮟鱇は兩眼の中程に、頭から長い釣竿のやうな鬚が出てゐます。いやあれは鬚ではなくて、背鰭の一部があんなに長く伸びたのでありますそしてこの長い鰭の先端に、うすい膜がついてゐて、それが遠くから見ると、丁度魚の餌の樣に見えるので、これを見附けた小魚連中、うまい餌食にありついたと喜んで、鮟鱇が下で大きい口を開いて待つてゐるとは氣附かず、だんだん近寄つて來ます。

小魚連中が近寄ると、鮟鱇先生件の鬚をだんだん大きい口の近くへ持つて來ます。小魚は尚ほも進んで、恐ろしい口の中まで、次第に釣り込まれて行きます。すると今まで目ばたきもせずに、息をころして居た鮟鱇は、時分はよしと、大きな口でパクリと小魚をまんまと呑み込んで終ふのであります。

斯んな具合に鮟鱇は、海の底に坐り込んで、毎日毎日大公望を氣取つてゐるとは、誠に面白いではありませんか。

修身例話　偉人とクセ

イギリスの大政治家グラッドストーンと云ふ人は、一つの癖があつた。その癖は平生色々の机を並べておき、これは政治の机、これは文學の机、これは宗教の机と並べておいた。そして何か問題があると夫々の机にいつてその向きの本を讀んだり筆をとつたり考へたりした。かうして若し其机が問題にあつた机でないと、どうしても良い考も出ず、本を讀んでもよくわからなかつたといふことである。又ドイツに詩人として名高いシルレルといふ人があつた。今もその人の住んでゐた家はワイマーといふ小さい町にあるが、この人にも面白い癖があつた。この人の癖は普通の人の癖とは變つて、何かいゝ考へをしようと思ふときつと腐つた林檎をかいだといふことである。そして、若しそれをかゞないと決して良い考へが出なかつたといふことである。勿論これは決してよい癖といふのではない。人には癖のあるものであるといふことを述べたのであるが、不規律な夜ふかしをするとか、悪い習慣はやめたいものだ。

風つて何んだろ　大きな汽船をテンプクさせたり―お家や大木を吹きとばしたり―物凄い風の力と正體

「カゼつてなんだろか。ゾウみたいにチカラがあつて、ウチをギシギシゆすぶるね。」

「カゼはクウキのながれです」

「一ペウカンのはやさが、一メートルから三メートルぐらゐのカゼはキのハがゆれるだけよ。」

「ヒのマルのハタがひらひらするのはナンプウで。」

「五メートルから七メートルのはやさになると、スナホコリがまひあがる……。」

「十メートルから十三メートルになると、デンセンがぴゆうぴゆうなつて、もうカサなんかさせませんよ。」

「ウミはごうごうなつてナミたかく、すごいね、まだすごくなるのかい？」

「十七メートルぐらゐはやくなると、もうカゼにむかつちやあるけないわ。」

「廿メートルになるとね、キのエダがをれて、あるいてるヒトなんか、カンバンみたいにふつとばされるんだよ。」

「こはいわね。卅三メートルもはやいタイフウにあふと、おほきなキセンまでテンプクするんですつてねえ。」

「タイフウには、まだ一ペウカン七十二メートルなんていふチヨウトクキユウもあるよ一ジカン六十りもはしるんだユマみたいにぐるぐるまはつて……。」

「タイフウつて、どのくらゐおほきいの？」

「それあおほきいさ。ひろさが百二十五りあつて、たかさだつて二りハンもあるんだから。」

「ウチぢやヨナカにおとうさんとおかあさんが、マッチはないかつてケンクワしてたね、ロウソクがついたら、おとうさん、こはいカホしてあたしをみるのよ。だつてコドモはカゼのコぢやないわねえ」

◇タツマキはどうしておこるか◇

タイフウのとき、ウミにはものすごいタツマキがおこる！のぼるはげしいキリウ、あたゝかいキリウがいりみだれ、ウヅマキとなつてクモをおこし、カイスキをまきあげる。これが、バクダンをトウカしたときのやうなおそろしいタツマキになるのです。

五人づゝ組む　陣取遊び

十ニンがヂヤンケンポンで、五ニンづつにわかれます。だれかのウチを、ヂンチにして、ナカマのタイシヨウをきめます。「シヨウカイセキ」とかいたカミキレを、ズブンのヂンチへかくしておきますウチのかはいけません。ミハリバンひとりおいてテキのヂンチへでかけます。そして「バクゲキ…」のこゑをアヒヅに、「シヨウカイセキ」のカミキレをさがしはじめテキのミハリバンが四百かぞへるうちに、四ニンのうちだれかがカミキレをみつければ、みんなタイキヤク。もしみつけらそのヂンチをセンリヨウします。センリヨウされたらまけ、まけたはうはまたべつのヂンチをつくり、たくさんヂンチをとつたはうがかちです。

連載漫畫　傘屋のヤンチヤン　西ひさし

オイニゲテユカンデモツトケンプフヤレ

ヘイ

シユウスイー

ヨウカンノオ

ウヘ

エイヤ

ヤヤ

ナアンヤオマヘノカタナハオモチヤダツタカ

グントウニハカナヒマセンヨ

お水の早變り

◇からつぽのコツプを二つと水のはいつたビンをもつて、お友達の前にあらはれます。ビンの中の水に、仕掛がないことを示すために、ビンの口から水を飲んでみせます。つぎにこのビンの水を、一方のコツプにそゝぎますと、不思議なことにその水は、みんな眞つ黄色になつてしまひます

◇お友達がびつくりしてゐる時、こんどはそのコツプの中の黄色い水を、別のコツプに入れます。するとたちまち、濃い眞つ赤な水に變つてしまひます。これは二つのコツプの中に、ちよつと仕掛があるのです。二つのコツプは、どれもお友達には中がカラツポのやうに見えますが、底の内に粉を少し入れておくのです最初黄色くなつた方のコツプにはメチールオレンヂを、後のコツプには酒石酸を入れておくのです。兩方とも安いもので、一錢か二錢出せば買へます。

けふの番組　〔M・T・O・Y 新京放送局〕十六日日曜日

朝

七、〇〇ラヂオ體操、入港船のお知らせ(大連)　七、二〇ニユース

(錄音)七、五〇朝の音樂(大連)

八、二〇氣象通報

九、三〇子供の時間(奉天)=全日滿放送=撫順炭坑露天掘採掘實況=撫順炭坑露天基坑底より中繼=アナウンサー　大塚　正巳

一〇、〇〇寺院めぐり(五)護國磐若寺=同寺院より中繼=　アナウンサー　荒井　正道

一〇、四〇週間を顧みて「錄音」(東京)

一一、三〇經濟市況(東京)

自一一、四〇至六、〇〇東京大學野球聯盟リーグ戰實況(東京)=明治神宮外苑野球場より中繼=

◎時報、ニユース、氣象通報の時間には中斷す　野球なき場合は後一、〇〇より後三、〇〇まで東京入演藝を放送

晝

一二、五九時報(東京)

〇、三〇ニユース(東京、新京)

四、〇〇ニユース(東京)氣象通報、ニユース(新京)

夜

六、〇〇子供の時間(大阪)　連續劇ニコニコ姉弟銃後日記　若草コドモ會

六、二五講演(東京)　廢物利用

小村壽太郎侯を偲びて　本多熊太郎

七、〇〇ニユース(東京)　ニユース、告知事項、番組豫告(新京)

七、三〇物語(東京)　大番頭小番頭　佐々木邦原作　古川緑波　東京放送管絃樂團

七、五五新日本音樂　一、千代の壽　箏　菊水秀芳　三絃　川谷操錦　尺八　秋元麓山　二、遠砧　箏高音　菊水秀芳　同低音　松田綾子　三絃　三谷操錦　尺八　秋元麓山

八、一五ハワイ音樂(大連)　ナカムラ、アンド、ヒズハワイアン　インストルメンターズ　一、ココナッツの島　二、ふるさとの歌　三、ヒロへ行かう　四、想ひ出　五、ヒロ・ハナカイ　六、山寺の和尚さん

八、四〇落語(東京)　松敷き　春風亭柳枝

九、〇〇温習會中繼=社員倶樂部「第二回秋季温習會場」より=　一、長唄　楠公　唄　お妻　三味線　小夏　同　富三　同　桃後　同　桃若　同　右女若　同　歌枝　同　桃菊　同　照若　同　一葉　同　笑丸　笛　桃子　三味線　お染　小鼓　笑奴　小鼓　世々香　大鼓　政彌　小鼓　金丸　同　春美　同　千代樂　太鼓　桃代　大鼓　國樂　指導　杵屋十七郎　堅田喜之助

二、清元淸海波　立方　笑奴　同　花千代　淨瑠璃　芳　三味線　ずま子　同　千鶴　同　桃龍　同　香　上調子　お染　同　笑丸　はやし　堅田喜之助社中　指導　藤間勘多郎　同　清元延寅勝

九、三九時報、ニユース、ニユース解説(東京)　氣象通報、ニユース、告知事項、番組豫告(新京)

一〇、三〇ニユース再放送

一〇、四〇北滿の時間(哈爾濱)

アナウンサー　荒井(晝)　田中　小澤(夜)

□夜の音樂□　後七、五五―八、一五

新日本音樂

一、千代の壽　櫻井女史作歌　宮城道雄作曲　箏　菊水秀芳　三絃　三谷操錦　尺八　秋元麓山

「解説」…三曲合奏の古い形式に倣つて作曲されたもの、歌詞は某氏の喜壽の祝によせられた歌で德をつみ重ねて人の世に喜壽を祝ひ給ふをきく我が身まで八千代經ぬべき心地すると悦びたゝへるもの

二、遠砧　磯部女史作歌　宮城道雄作曲　尺八　秋元麓山　三絃　三谷操錦　箏、高音　菊水秀芳　同、低音　松田綾子

「解説」…箏二部と尺八三絃の四重奏、箏の高低合奏は本手替手式で三絃尺八ともいづれも樂器の獨自性を充分に特長發揮させ、それぞれの音色と旋律の流れの組合せ方に新味横溢してゐる、風のまにまに吹かれ來て聞ゆる砧が遠くなり近くなり錯綜する面白味が手事によつてうつされてゐる

學藝

シナリオ……曉の建設（七）

公島徳衛

40

（F・I）（ひる）放牧場、立木のそこ此處に羊が群れてゐる。若い女達離れ〴〵に羊の毛を刈つてゐる兵士一人そつと來て女の一人に戯れる。反抗するが草叢に押し倒される。刈つてゐた羊の毛亂れ飛ぶ。兵士草叢から現れて去る。女、倒れ伏して泣いてゐる。別の女、別の將校に襲はれる悲慘、暴逆に非ずして何ぞ。簡と彩、立木の下に逃れて來て抱き合ふ。

簡「しつかりしな彩花、こゝは地獄だ。姿達は死なゝきや幸福に成れさうも無い。どうせ死ぬんなら（見廻し）やつて見るんだ。これで（へつた鍵を渡し）手筈は出來てゐる」

一匹の羊が向ふから馳けて來て羊の群に加はる、角に繩が付いてる。簡、馳けて行きその羊を引つぱつて來て乳を探る。乳首に手紙を讀む、彩を見上げ、

簡「彩花、今夜だ」

彩花強くうなづく。

41

留置檻、不潔陰慘に盡く留置人十名位、病人。片隅に日本人泰然と坐す。隆が居る　戶外に劍と靴の音、高い窓より日指し。病人水を求めて唸る。日本人扉の差入口に寄りドン〳〵とたゝく、外の返事、

兵「何だ」

日「水を呉れ」

兵「馬鹿」去らんとする、

日「病人だ、水を呉れ」

兵「ならん、規則だ」

日「そんな人道に外れた規則はたゝきつぶせ」

兵「馬鹿奴」銃床を格子の間に入れ日本人を撲らんとする、日本人、素早く兵の手を引きずり込んでねぢ上げる。隆、見てゐる、別の兵來る。

兵「コラッ何してるんだ。オタから來たと云ふ日本人は貴樣か（さうだ）出ろ司令官がお呼びだ」扉を開ける、昂然と出る。

42

（夕方）農場、青年達及び隆の一行の農民達、寄り合つては密語してゐる。兵士の目をかすめ彼等は逃走の相談をしてゐるのだ。

青（C）「爹もやられた。李も殺された、隆も還つて來ない、目をつぶつて服從しなけりや、やがて皆殺しだ」別の青年D

D「糞つ、死んだつて服從出來るか」別のE

E「簡さんの方は準備出來た相だ」

C「よし、どうせ殺されるんだ、最後まで反抗しろ、首尾よく逃げられたら共產黨の掠奪、陰險、暗黒政治を世界中に知らしてやるんだ」青年D放牧場の柵の處に忍び寄り羊を一頭捕へ乳首に手紙をくゝり附け放す。

（鐘が鳴り始める）

43

赤化本部の室、將校D（へ先に酒を呑んでゐたの）日本人と對談してゐる。日本人傲然と對す。

D「それで君がヤムの闘士であり、セン・カタヤマの同志である事は解つた。證明も揃つてゐる、しかし解らぬのはどうして國境線を突破して迄蒙古に潜入せんとしたかだ。」

日「日本の黨再建の爲めだ」

D「いや、それならコミンタンで安全に上海迄送り屆ける筈だ」

日「滿洲、蒙古の狀勢がどうなつてゐるか、君は酒と女の外に考へて見た事が有るのか、この老大な曠野の民衆は今北方軍閥と匪賊との重壓の中から起ち上らうとしてゐる。彼等の求めんとするのは淸新な、明るい徳義に據つて立つ新國家だ。期せずしてこの欲求は新らしい運動と成つて現れるだらう。君は之等新時代の靑年農民達を折角手元に引寄せて置き乍ら、彼等に共產黨の貪婪、强奪の全貌をさらけ出してゐる。やがて彼等が共產黨の欺瞞を知り、ソビエットに見切りをつけて王道至誠の國家を建設する時は彼等こそソビエットの恐るべき强敵となるだらう。彼等に安息と平等の分配を與へ給ひ」

兵士が這入つて來る。（簡の室に鍵を忘れた、簡を思つてゐる兵士）イワノイチだ。

兵「隆の妹、隆簡々を連れて來ました」

D「よし、三號室に重禁して置け」兵去る。

日「隆兄妹を解放し給へ、そして子供達を親に返すんだ」

D「君は一體それで黨員なのか、ソビエットがそんな事を許すか、欺された奴等が馬鹿なのだ。だが隆は奴等の指導者だからあいつだけは返す、その代り君が第四コルホーズに這入つて動靜をスパイして呉れ。」

日「で、妹は」

D「簡か、あれは（ニヤリとして）一寸取調べだ」

春風（三）

張天翼作　大藤巍譯

だが彼はやはりその說を力強く續けた、學校中でこの丁老師だけが彼の議論を理解したのである。

丁老師は全身を傾けて聽いてゐた。時々彼は口を入れた一方顏では相手に應じて笑つた——相手がしやれた事を言つてゐるのを人に知らせた。彼によればこれは一種のヴィタミンだつた。

そこで彼は高々と肩を聳かし、唇を外にひんまげた。

「うん、あいつらの家庭教育が好過ぎるつて、もう專門にを養はせとるんだから。」

それから親指を鼻の上に持つて行つて、他の四本の指で空中を二三度招くやうにした彼の手指には色んな色がついてゐた——酒でなければ紅い藥水だつた。

元來彼は護士學校の出身だつた。彼は人から醫師と呼ばれることを喜んだ。それで此處でも彼は授業の外に——なほ衞生事務を擔任してゐた。校長はそれを誇りとしたものである、全く、防疫の注射、種痘をやることは丁老師の手練れた仕事であつた。

たゞ邱老師はその鼻を厭らしく思つてゐた、そして議論をやる時にも弛せにしなかつた。

壁の所まで行つて逆戻りをした、邱老師はその時にじろりと眺め、肚の中で言つた。

「全く奇妙だ、あの鼻は犬の鼻みたいだ！」

口ではしかし一つの統計を報告してゐた、全校の生徒中小ルンペンが三分の一を占めてゐる、こいつらはどんなに數へても駄目だ、彼は苦い顏をした、まるで三伏の太陽に曬されてゐるかの如くだつた睫毛はぢつくりと濃く見えた。

彼は强く次のやうな結論を把握した。——家庭教育を受けぬ者は、いかに學校教育を受けても役に立たぬ。それをこんなに金を使つてあいつらのために學校をやるなんて！

「これは何と名付けたらいいものか、まあ教育の浪費と名付けやう！」

この言葉を二遍繰り返していかめしい顏で相手を見た。

丁老師は下顎をなでた、深く呼吸をした、彼はこの相手に些か同情してゐたのである師範科の優等生だつた——卒業證書は第一號だつた、年はまだ若い、それが小ルンペンの相手をしてゐる！

彼は此處で何かまじめな事を言ふべきだと思つた、彼は殊更らにいかめしい顏付をした、だがそれは他人には冗談を言はうとしてゐるかに見えた、咽喉が相當高くなつてゐた。それは彼が悉く失望してゐないことを示してゐた、この學校にもまあ見込みのある子供もゐる——きちんとした服裝をしてゐる、衞生がどんな事であるかを知つてゐる彼等の父兄はきちんとした職員である、子弟には好い教養を與へてゐる。續いて彼は一個の醫者といふ資格に於いて苦々しく邱老師に忠告をやつた、心臟病を患つてゐる者は輕々しく感情を動かしてはいけないからである。

最後に彼はなほ少しヴィタミンを加へた。

「僕達のゐるこの學校は何で無料でやつてゐるのか、えゝ若しさうでないと、君も僕も飯の——」

兩手を上げ、魔術國の道化役がやるやうな格好をして、七分通り鼻髭になつて言つた

「喰ひ上げだからね！」

それからだまつて相手が笑ふのを待つてゐた。

しかし階下が急に騷がしくなつて來た、手を拍つて跳びはねながら「任家鴻！」「任家鴻！」と言つて騷ぎ廻つてゐる。

壁でも太陽でもそんな名前だと言はんばかりである。

任家鴻は籃球を持つて大門を入つて來た、一尺何寸といふ大股で、その花模樣のある春の上衣はひらひら搖れてゐる。

日日狂歌

无志幾

鹿

燒かれたる三笠の山に妻こふる
鹿に今宵の宿を春日野。

增產

年々にかねて思はありながら
殖えて殘るは孫と借金。

手帖

大内隆雄

「舞踏會の手帖」雜感

映畫「舞踏會の手帖」を觀て思つたことは、ヨーロッパ人の知性生活の破綻といふことであつた。それが一番極端に示されてゐるのは、あの發作持ちの港町のあやしげな醫師の場合であつて、それは息づまるほどの感じでわれ〳〵に迫つて來る。あの醜い妻への手荒な仕打ち、發作が起つてからの獸のやうな唸り聲、それがインテリの男であるだけにむしろ悲愴でさへある。同じやうな知性の破綻を別な仕方で表現してゐるのが、一人はあの田舎町の陽氣な町長であり、も一人はキヤバレーの主人で泥棒の仲間である男である。大統領にならうとして町內の樂隊の統領にしかなれなかつた男、女中と結婚する自分の結婚式に自分で即興の祝辭を述べる男、彼も離れ濟む恐らく不良であらう子供を思つては暗然と悲痛に語るのである。キヤバレーに女の周旋をやりながら、昔の女に訪ねられては泥棒の仲間も曾つて愛誦した詩句を誦するのである。

映畫全體はロマンチックな感觸の多い場面をつらねながら、ひしひしと私に迫つたのは歐洲人の現代生活の現實であつた。そしてその相當の部分は私達の生活にも相通ずるものではなかつたか。私達の周圍にはあの神父もゐる、美容術師もゐるのである。

尤も、舞踏會は、それと同じやうなものは幾度も繰り返して催されやう。そして若者たちは心をおどらして出掛けてゆくだらう。ただ、やがては峻嚴な現實に面しなければならぬことはつねに同じである。（一〇、一一）

バクゲキ欄

佳品だが書き古されたもの

—芹澤光治良「都會の人達」（「文藝」十月號）

この作者のものとしては一風變つた作であらう。これには、或る別莊地の農民一家が描いてある。今まで耕作をやつてゐた土地が或る將軍の別莊地になる。父親はその別莊番になつて得々としてゐる。子供から見てそれがら哀しいのである。子供の可愛がつてゐた犬を引き取つて並々ならぬ愛撫振りを示すやがて派手な娘たちが都會からやつて來る。ところがそれも夏の間だけの事だつた。やがて犬はむざんに拋り出され、もとの飼主のところに哀れな姿で舞ひ戻つて來る。少年は其處に都會人、上層小市民の輕薄さをまざ〳〵と見るのである。

佳品とは言へる。しかしこのやうな題材のものはプロレタリア文學華かであつた時代にすでに隨分と書かれ來つたものなのである。作者名が變つただけで、その間に一向進展はないのである。これでは困ると言はねばなるまい。單なる逆戻りはありがたくないのである。（御垣衛士）

詩壇時評（二）民族詩の意識と戰爭詩の貧困！

菫川千童

「戰爭」と言ふ抽象的概念には、戰爭に生きた現實の事態と、戰爭それ自體との複雜な問題がある。

東洋に於ける今日の事態が眞に戰爭と言ふ現實の意義に徹して、流行歌的興奮を捨て詩人の直觀を働かすことが出來るならば、最近の詩壇に凋落した日本民族詩にとつて喜ばしいことに違ひない。

これまでの平和な時代にあつて、弱氣と非自覺的態度の裏書であつたやうな、日本民族詩とその抒情精神も、今時の戰爭がもたらした軍刀を握り敵中に躍る兵等の姿……此はすでに日本民族詩をして怠慢な抒情詩の形式の詩ではなからしめた。現實の姿が背後に映る詩となつたのである。

此の期に際して、傳統的な民族詩は平和の夢破り時代をよく凝視めて眞實な發展を成すべく、歷史の上にも保存さるべき時でもある。又抒情的な人らも新らしい日本民族の精神に復歸すべきであらう。

一方、現代詩の形式の戰爭詩に就いても戰時下の詩としての民族詩の興隆の問題とか西歐詩から離れた日本的性格の私詩の問題とかが起きてきたのである。

吾國がこの未曾有な試練を突き拔けて伸び上ると共に起つた激しい詩人のデエナレイションは、新らしい日本の理念に依る劃期的な創造を遙かに形式詩人の前途に望むとゝもに、詩人の不斷のアルバイトが尙開拓してゆくべき詩界への領域は大きな希望となつて燃えたつ！

斯かる時代に、どうして僕等は素晴しく高揚する日本精神を詩作品の上に盛りあげない譯があらうか？

これは、僕だけの熱情的な主觀かも知ない。だが旺盛な詩人のリリシズムの基礎は、この戰爭と言ふ現實のメタフイヂカルな信念が躍動する時一切の詩形式の懸念を放つてもかまはないとする。僕のトリヴイアルな思想は戰爭詩を語るにあつて、一先づ詩の傳統とか文學の歷史とかに就いて浸潤することは出來ないのだ！

戰時下の一年。戰爭の影響を受けた所謂「戰爭詩」は方々に散見したが、再び影をひそめて了つた。それは詩人の觀念的な昂奮に過ぎなかつた爲か、一部の詩人らが世渡上手な往年の身振で新らたな轉換を示したやうに見せかけたのも、全くヂャーナリズムの波を泳いだだけのことに終つた。結局、貧困な根本資質は少しも變りは無く詩人の生命とするスピリットの凋落した寒々しい存在を戰爭によつて正直に露はしてしまつたがやうである。

書架

△「力行世界」（十月號）新京力行村からの通信がひかつてゐる（東京市板橋區小竹町、力行世界社、三十錢）

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

文壇從軍通信

漢口戰途上にて　川口松太郎

戰線へ來て一番感じた事は、兵隊の讀書慾と知識慾だ。みんな本や新聞を讀みたがる、慰問品を包んだ古新聞を見ると中の品物よりは包紙の新聞をひつたくるやうにして讀み初める。

九江や漢口方面の最前線ではなく、上海を二里離れた大場鎭や吳淞鎭なぞの守備兵でさへその有樣で、兵の娯樂の第一は讀書にあるのだ。內地の諸君が慰問品を送る包みには必ず最近の新聞を用ひ、內容には輕い讀物雜誌を一册加へて頂きたいと思ふ。

戰跡の何處へ行つても見られるものは古雜誌の表紙だ。野戰病院の壁に必ず見られるのは雜誌の口繪をキリぬいたグラビヤの美しい婦人だ。慰問に貰ふ兵隊が手にしてゐるのは埃にまみれた雜誌に限られてゐる。

こゝへ來て我々は大衆作家として層一層の責任感に打たれ、我々の作品が少しでも戰線の兵士達を慰める機會のあつた事を喜んだ。

「講談倶樂部」を通じて私は內地の諸君へ大聲で呼びかける。「講談倶樂部」のやうな面白い爲になる大衆雜誌を發達させて下さい。この種の雜誌を進歩向上せしめて下さい。

それだけでも立派な銃後の任務と云ひ得られる。私は此處へ來てしみ〴〵さう云ふ實感を得た。これからいよ〳〵前線に出ます。前線には更に諸君に報告すべき、多感激的事實が待つてゐると思ひます。（寫眞は川口松太郎氏）

一、本店　東京市日本橋區室町二丁目一町地
一、資本金　一億五千萬圓（一億二千五百萬圓拂込）
一、取扱品目　砂糖、麥粉、外米、麻袋、セメント、安平、織物、陶器紙、燐寸、石綿、茶、諸罐詰、其他食料日用品、雜貨類石油、電池類、自動車、鐵道、橋梁用品一切、電氣機械工具類、家庭電氣用品、電線、金物、木材、化學肥料、染藥品、穀物、穀粉、大豆、其他豆類、豆粕、豆油保險代理業（火災、海上、運送、自動車、傷害、各種保險）

三井物産株式會社 新京支店

新京室町四丁目四番地

電話
3-二一六〇 支店長、支店長代理
3-二〇六三 庶務掛、（兼夜間宿直用）
3-三一九八 庶務電信
3-三二八四 穀物掛
3-三二八八 〃
3-三一九八 雜貨掛
3-二七八三 雜品
3-二四六〇 織物
3-五七八八 機械
3-六六〇七 保險
3-二〇一二 石炭
3-三五七九 勘定
3-四一八九 セメント掛
3-(A)(B) 爲替掛
3-二七六三 三井倉庫

綠醫院
入院の設備あり
住吉勝也
長春大街三〇二護國般若寺筋向
電(2)五五一一〇〇二一番

取扱品目
各國羅紗洋服附屬品一式
東亞ペイント諸建築材料
滿商事石炭指定販賣店
新京日本橋通
加藤洋行 新京支店
電話 石炭部3二〇三二・五三八八
羅紗建築材料部3三七三一

牛乳は
御見舞品に御湯の牛乳券を！
全乳一合七錢
柳川牧場
場主 獸醫 柳川吉美
電話（2）二八五七番

營業課目
技術正確　責任出願
●鑛業法ニ依ル正規製圖並出願手續
鑛山測量
鑛山調査
鑛石分拆
鑛石鑑定
一般測量及製圖
青寫眞調製にも應ず
倘漆人には通譯を要せず
新京八島通四四
電話長③六四四四七番
滿洲鑛業社
社長 土方龜次郎

民事商事刑事訴訟
法律顧問及鑑定
會社組合設立手續
特許商標出願審判
原法律特許事務所
新京事務所 新京曙町三ノ二四 電話3四七番
奉天事務所 奉天浪速通廿八番地ミヤコ〇五番ビル 電話3一三一六番
衆議院議員 日本辯護士協會理事 日滿法曹協會理事 陸軍大臣指定軍法會議辯護士
辯護士 法學士 四等 原惣兵衞
陸軍大臣指定軍法會議辯護士
辯護士 法學士 小松久雄
辯護士 法學士 田崎昌亮

引越荷物
荷造運送
永樂町三丁目廿一
㊀丸一公司
電三・三八四三番

富士電機製造株式会社
新京出張所
中央通り三九 電(3)三三八五 三三〇二

軍隊用品
酒保用品
卸
大經路三街二十九番地
在庫豐富
高木滿書堂
高木馬吉
電話長二一三〇六
振替大連六三
其外文具類、雜貨等全部取揃へ有之候故多少に不拘御用命の程伏して願上候

御徳用質流れ
冬の一一洋服類
新京祝町三ノ三
三浦屋質店
電③三七五番

割烹　天平支店
ダイヤ街（永樂町）
電③三六三七一一番
天平そば
電3二九四五番
本店 大連浪速町
支所 鞍山北四條町

森永ドライミルク

適量の糖分を加へ母乳と同成分にしてあるため、永く保存に耐へ消化吸收特に良し
食行全部重要の七割をよむ

森永製品新京販賣株式會社

質
柳屋質店
和洋服は特に勉強
大口歡迎
お電話次第御相談に應じます
吉野町二丁目平本洋行裏小路入る 電③三一五二

軍賜公債
高價買入
福民代書 奨券
商品券
新京祝町三丁目（南廣場興銀横）
泰正號
電話③二六四四番
の賣買も致します、精々御利用下さい

最新
パーマネントと
御婚禮 御支度は
是非當院へ
御婚禮用
衣裳と
精巧なカズラを
取揃へて居ます
ダイヤ街通（老松ビル二階）
老松美粧院
電③六三四九

民事刑事及法律顧問
一般法律事務之專任
律師 辯護士 別役增吉
朝日通二五番地
電話③二八八五

りん病
急・慢性を問はず良く効く藥を御教へ致します
にて御困りの方は是非一度御越し下さい
新京興安大路六〇六
あじあ藥局
電話②一四四一番

親切
叮寧
迅速
新京永樂町五
亞細亞タクシー
電③二五二四・二五二五番

西脇洋行
三笠町二丁目
電（3）二二四〇番

特製品カステーラ
學校 官廳 商店 御用達
カネタ製麵麭工場
四馬路 電話②一八六六七

知識眼科醫院
新京大和通六六
電三一六六四六番

營業御案内
運送及運送取扱　通關代辨　倉庫及金融　火災海上運送保險
荷造及市內運搬　引越荷物　人夫供給　委託　賣買
新京富士町二丁目二十七番地
國際運輸株式會社新京支店

電話
事務所
代表 3-〇一六

支店長席　庶務　經理　保險　金融　倉庫　運輸　トラック　勞務　設計　通關　到着　重役室　參事室

其の他

庶務　設計　到着　到着現場詰所　貨物通關　稅關構內詰所　小荷物通關　日ノ出町倉庫　荷造　手小荷物　トラック車庫　國際運輸車庫　石炭積運搬　石炭御用　專用線

撫順新壽司米 新入荷
木炭（吉林白小丸）
御菓子の仕入なら何品でも揃ふ當店にて
明治製菓　グリコ會社　東京菓子　中央製菓　佐久間ドロップス　永岡製菓
特約店
酢昆布發賣元
調辨所
新京蓬萊町一ノ一九
電話（3）三六九〇番

內科性病科産婦人科
知臣病院
豐樂路モンテカルロ隣
電三・一三二〇

冬の新柄大量着荷
京吳服
銘仙各種
名古屋帶
西陣御召
訪問着
村岡吳服店
新京吉野町二丁目
電話③二二四一地

秤に不正はないか 街頭にも光る眼

安心し買へる商道明朗化へ 度量衡器檢査徹底

不正度量衡器の一掃を期して首都警察廳保安科並びに權度檢定所協力の下に全市の各商店に對して使用する度量衡器の檢査を實施、既に中央通、長通路、四道街各警察署管下を終了引續き和順、順天、寬城子各署管下の檢査實施中である、その結果は成績概して良好と評定されてゐる、然し不正衡器の存在は消費者大衆に及ぼす影響極めて大なるものあるので當局は本檢査終了後に於ても隨時臨檢、街道に進出しては主婦の手に携へられてゐる購入物品につき量目を檢査の上不正衡器並びに不正商人の摘發につとめ殊に煖房季節に入り從來しばしば問題となつた石炭の量目については運搬途中を臨檢して不正納入等の絶無を期する筈である、而して不正商人發見の場合は假藉なく斷乎處罰し「安心して買へるやうに」と商道の明朗化を期する方針である

〃燒鳥屋街〃第一夜

寒くなれば外を歩くにも一寸一杯とゆきたくなる、で氣持の良い屋台街を作らうと從來の燒鳥屋さん達をヤマトホテル裏と記念公會堂裏の二個所に集めて作つた燒鳥屋街、十五日より開業とあつてずらりと店を並べた、今までの樣な紅白の幕や椅子は絶對禁止とあつていさゝか淋しいが、これも統制、これで永ッ尻の泥醉者も居らなくなりお互に氣持良く立食ひ、立飲みの狀景宜しく先づは第一夜を終つた

元氣になつたぞ

傷病勇士の慰安と士氣鼓舞に 陸軍病院運動會

新京陸軍病院では白衣の勇士慰安と傷ついてなほ屈せざる旺盛なる士氣を鼓舞するため艦傷病兵、看護婦、軍醫等關係者總出で十七日午後一時から病院庭内で盛大な秋季體育競技會を催すが、競技種目は防毒面裝着軍隊競走、空襲時競走、擔架競走等流石に陸軍病院に相應しい戰時訓練競技を始め看護婦の繃帶卷競爭、合理獻立カロリー競爭、その他パン食競爭、スプン競走等が行はれる

慰問者激增

弘報協會並びに加盟新聞提唱の在滿皇軍並びに國軍將士慰問恤兵金運動は俄然銃後國民愛國の熱誠に拍車を加へ最近新京陸軍病院を訪れる慰問者も漸次激增し傷病兵を喜ばしてゐるが、十五日午後一時市内東二條通カフェー亞細亞會館主尾崎忠氏は近く北滿警備の第一線に活躍する皇軍慰問に出發する同館女給四十五名を連れて陸軍病院を訪れレヴューに劇に一時間餘に亘つて熱演を行ひ白衣の勇士を慰めた、又同二時半からは新京商業ブラスバンド隊が泉教師引率のもとに傷病兵を見舞ひ、マンドリン演奏について「海行かば」「愛國行進曲」等勇壯なブラスバンドを演じ白衣の勇士に多大の感激を與へた

蒙古王侯會議 捧上書起草

蒙古王侯會議は前日に引續き十四日午前十一時より中銀倶樂部に開催、扎興安局總裁外同局幹部並に王侯旗長の一部約二十名出席、政府の開放蒙地處理について生計優遇の好意に感激せる王侯連は十三日の意思表示に基き愈々王侯自身の自發的意味に於て開放蒙地の捧上及び王侯の現有特殊權益（蒙租の徴收、隨弟使役權等）の一切を擧げて皇帝陛下に捧上すべき上書二通を漢古文で作成することを申合せ政府側の諒解を得た後起草委員六名を指名、直ちに起草に着手した、よつて捧上書作成次第張國務總理に對し執奏方を依頼する運びとなる筈である

妻を賣る男

十五日午後一時頃歡樂街新天地で半島人女と滿人女を連れ歩いてゐる擧動不審の滿人男二名を密行中の首警捜査股員が發見、婦女誘拐ではないかと怪しみ一行を本署に連行取調べの結果、一行は間島省龍井居住滿人飲食店從業員河北省生れ孟振山（二六）妻女朝鮮咸鏡南道生れ香鈴（二三）と同僚山東省生れ孟廣和（四三）妻女翠鈴（二二）の夫婦者で男兩名はかねて新京が景氣がよいと噂に聞き妻を種に一儲けをと相談それぞれ妻にも打明けて納得の上手を携へ四、五日前來京新天地慶順堂に止宿、妻を妓女に賣り歩いてゐたものと判つた、妻を賣るとは不都合だとは言つても合議の上であつて見れば誘拐にもならないと係員も微苦笑、訓戒して釋放した

中銀(一部)滿炭(二部)勝つ

協和會分會對抗リレー

體育聯盟新京事務局陸上競技部主催第五回新京市内協和會對抗繼走大會は十五日午後一時より西公園競技場に於て昨年の優勝中央銀行分會以下十七分會の四十歳台三十歳台のOBから女子軍まで總動員で盛大に擧行した、競技に先立ち入場式、優勝旗優勝盃返還式を行ひ午後一時三十分三十歳台六百米繼走から熱戰の火蓋を切り熾んな聲援の裡に接戰を繰り展げ左の成績で一部中銀、二部滿炭が優勝、終つて優勝旗、優勝盃授與式を擧行五時閉會した

▲一部優勝 中銀（民生部大臣優勝旗）
▲二部優勝 滿炭（總務長官盃）

‖一部‖
▲一般四〇〇米（中銀總裁盃）中銀
▲一般八〇〇米（民生部次長盃）需品局
▲一般一六〇〇米（體育聯盟盃）中銀
▲三十歳台六〇〇米（治安部大臣盃）民生部
▲四十歳台四〇〇米（經濟部大臣盃）滿拓
▲女子二〇〇米（大毎優勝旗）中銀
▲混合リレー一二〇〇米（司法部大臣盃）中銀
▲ボール股下送り（電業社長盃）中銀

‖二部‖
▲一般四〇〇米（電々總裁盃）滿炭
▲一般八〇〇米（經濟部大臣盃）滿炭
▲一般一六〇〇米（滿鐵支社長盃）產業部
▲三十歳台六〇〇米（市長盃）郵政管理局
▲四十歳台四〇〇米（產業部大臣盃）司法部
▲女子二〇〇米（民生部教育司長盃）滿炭
▲混合リレー一二〇〇米（交通部大臣盃）郵政職員養成所
▲ボール股下送り（副市長盃）司法部

‖得點一部‖
1、中央銀行四二點2、營繕需品局二八點3、交通部二三點4、市公署一九點5、朝鮮人分會一七點6、民生部一五點7、滿拓公社一二點8、經濟部六點9、內務局四點

‖得點二部‖
1、滿炭三四點2、產業部二九點3、司法部二七點4、郵政職員養成所一九點5、郵政管理局一三點6、日本人小學校一三點7、電業一〇點8、地籍整理局六點

【寫眞はボール股下送り】

交通安全デー 實施諸行事決定

ラヂオに、裝飾馬車に大宣傳

既報、來る二十七日より三日間に亘り新京交通協會主催による國都交通關係各機關總出動の下に全市一齊に實施する〃交通安全デー〃の諸行事は大體次の如く決定した

一、ラヂオ放送 交通協會役員、副總監、保安科長放送
一、アドバルーン掲揚、寶山百貨店屋上に〃交通訓練〃と記載掲揚す
一、擴聲器による指導 市内主要交叉點二ヶ所に擴聲器を設備一般通行者に正しき道路の歩き方指導訓練
一、宣傳行進 イ、乘用馬車二十台を裝飾し新京商業ブラスバンドによつて宣傳行進 ロ、自轉車五十台を裝飾各自襷を掛け市内を模範行進
一、基本的交通整理 市内主要交叉點に於て石灰を用ひ横斷歩道及び停止線を假設し、交通整理を行ひ、交通整理規定による交通整理を行ひ、車馬、歩行者の訓練指導その他立看板ポスター、宣傳ビラ及び宣傳マッチ、吸取紙等を配布宣傳

滿洲の高粱稈で箒を造り度し

東京商議が斡旋依頼

全滿の副産物的特産品高粱稈は從來滿人の冬季燃料にのみ用途が限られてをり一部ではパルプ原料に供せられんとしてゐるが全滿におけるこれが利用については多分に研究の餘地を殘してをる際、東京商工會議所ではこれを箒材料とするに着目、試驗的に最近これが對日輸出の斡旋を新京商工公會宛依頼して來たので同公會では更にこれを長春縣農事合作社をして調達せしめることゝなつたが新京のみに近郷より入荷せられる高粱稈は年約一萬二千噸（現在呼値千五百斤五、六圓）あり東京よりの注文額は月三十噸とあるので年四百噸位は近郷農村に呼びかけ集荷の上輸出するは容易で更に要求ある時は全滿に亘り注文を發してこれが要求に應ぜんとしてをり、農家副收入の點より見て一石二鳥の效果を狙つてゐる、尚大阪某商店より從來支那印度方面より輸入を仰いでゐたマッチ用中等品膠原料たる牛蹄が日本の輸入管理爲替關係その他の原因により輸入杜絶したるためこれが補給地を滿洲に求めて來つてゐるが此の方は屠殺牛の僅かなるため需要に應じ難き旨回答を發した

神嘗祭、靖國神社大祭遙拜式

新京神社では十七日神嘗祭、十九日靖國神社臨時大祭にあたり午前十時より遙拜式を執行するが、氏子總代其他關係者はもとより一般市民多數の參加を望むと

協和會滿系職員

昨夕日本視察の途へ

協和會では滿系會務職員の質的向上を圖るべく日本視察に赴かしめる事となり全滿各省より選拔された優秀なる滿系職員十八名は團長三江省本部事務長永井正氏、副團長熱河本部事務長平山節氏に引率されて十五日午後六時五十分發〃のぞみ〃で勇躍出發した、一行は朝鮮經由日本に赴き明治神宮、伊勢神宮を始め東京及び京阪地方の各文化都市、茨木縣の農村地方を視察し非常時局下日本の眞の姿に接して來ることゝなつてゐる【寫眞は出發の一行】

新京教育會總會 あす開催

新京教育會總會は十七日午前九時より西廣場小學校で市内日本側各學校教員出席の下に左記式次で擧行する

一同敬禮、開式の辭、國旗掲揚、國歌奉唱、皇居遙拜、默禱、會長式辭、會務報告、閉式の辭

閉式後運動會に移り舊市街所在校と新市街所在校を紅白に別ち野球、庭球AB兩組、排球二十歳台、三十歳台、四十歳台、女子四組で競技を行ふ

松岡弘報主任

滿鐵新京支社弘報主任松岡功氏は十五日午前十時四十分の列車で吉林へ出張

新京中學創立五周年 記念展覽會

十七、八兩日開催

新京中學校が昭和八年二月設立認可を受け同年四月新學期より商業學校内に同居開校されて九年四月十一日現校舍傍のバラック建假校舍に臨時移轉十月二十四日本校舍完成移轉と日を逐うてこゝに五周年となり本年三月第一回卒業生を送つたが、時節柄創立五周年記念式を行はなかつた所、今回同校の教材として蒐集中の往時長春時代よりの國都發展を現はす地圖、寫眞、資料等非常に興味のあるものが相當集つたので一般に公開する傍ら創立五周年記念展覽會を十七、八兩日午前九時より午後四時まで同校で開催することになつた

右の國都發展の概要は明治四十一年の長春市街、明治四十四年滿鐵官舍、ヤマトホテル、新京警察署（現中央通署）等點々と建築物の散立してゐる當時の市街を驛より俯瞰撮影した寫眞等非常に貴重な資料として興味を持たれてゐるものでその外同校生徒及び市內小學校兒童作品等を陳列するが一般多數の參觀望んでゐる

けふの天氣 西の風晴後曇
きのふの氣温 最高四度七 最低零下三度七

退廳時の中央通署廊下を中島司法科長ウロウロして倉庫番は居らんかと尋ねまわつてゐる ▲署員達どうしましたと聞いたら、いや俺の家のストーブをこゝの倉庫へ預けてあるので出してほしいのだと氣乘さうに返事する▲所が倉庫を調べてみたがそのストーブの影も見えずこの捜査迷宮入りしてしまつた、科長致方無く歸りかけ外へ出て今更乍ら「ウフ、寒い」

訂正 十五日付朝刊火災季に直面、之だけの注意を！と題する記事末尾、尚火與の際集に於けるとあるは火災の際の校正の誤、通報は二九番とあるは一一九番の誤りにつき

組合教會集會

十月十六日（日）午前九時日曜學校 同日午前十時半 禮拜説教「夢と現實」 岡田敏郎氏 會堂老松町普通學校正門前

メソヂスト、教會

一、日曜學校 午前九時
一、日曜禮拜 午前十時十五分 説教「禮拜の意義」 山口牧師
一、志導者會 午後七時半

日本基督教會

一、日曜學校 午前九時
一、朝の禮拜 午前十時半 説教「海外發展とキリスト教」 日本力行會長 永田稠氏
一、夕拜 午後七時半 説教 未定

觀世流謡曲會

國都の謡曲熱は最近頓みに盛況に向ひつゝあるが、新京觀世流謡曲會は十六日正午から祝町西本願寺幼稚園講堂で國都最初の聯合謡曲會を開催することになつた、一般同好者の來聴を歡迎すると

女給隠れて 五十男の恥晒し

家出流行りとあつて女給さんも飛出て見たがすぐに捕つてその上副産物に五十男の恥さらしが出て來た、銀パレス女給本籍秋田縣北秋田郡川沿村餅田滿里子こと石川多美子（二四）は十四日午後九時頃店を出て電話で「これから内地へ歸りますから廢業屆を出しておいて下さい」と言つて來たので銀パレスではびつくり驛へ行つて調べたが見當らず中央通署へ屆出た、早速捜査した所十一時半頃中央ホテルに興仁大路居住某會社勤務江藤與四郎（五〇）と宿泊してゐるのを發見本署に連行留置取調べた所同人は最近內地で失戀して來京したもので現在の職業も面白からず同夜前記江藤のテーブルに出て身の上話をしたのが同情され內地へ送つて貰ふ約束で飛出したものと判明、所が外へ出てから列車時間の都合が惡いと中央ホテルへ連込んだとあつてこの五十男の會社員さん大目玉を食つて恥さらしをした

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

（百四十六）

（上海上映）

中川雨之助

竹な一郎畫

大和橋

秋田屋を助けてやると言はれると武蔵屋庄兵衛、溺れる者は、藁をも摑んで「えゝまゝよ、一杯食はされた氣で、付いて行つて見よう」といふ氣になつた。

子分が飛んで行つて、早速二挺の駕籠が來た。

「先生、いつたい何處へ行くんで……？」

庄兵衛、まだ心配だ。

「何處でもよい。默つて乘れ」

仕方が無いから默つて乘る。

「行つていらつしやい！」

見送りに出た子分たちが口々に言ふ。だが何處へ行くのか、その子分等も無論知らない。

「旦那、何處へ行くんですか」

駕籠屋がきいた。

こいつは、默つて困るわけに行かない。長七郎、駕籠の中から、

「紀州街道だ。急げ！」

凜とした聲だ。

「へい」

息杖が這入つた。

あとの駕籠で武蔵屋庄兵衛、紀州街道ときいて、何となく胸がをどつた。

二挺の駕籠は、やがて大阪の町を出離れて夜の街道を急ぎ、間もなくやつて來たのは大和橋の近く。攝津と和泉の國境、大和川に架かつて居る大きな橋だ。

武蔵屋庄兵衛、駕籠に揺られながら、何が何だか、さつぱり譯が分らない。

すると、微にリン〱と聞えて來るのは鈴の音だ。

長七郎、駕籠の中から、駕籠屋に聲をかけた。

「鈴の音が聞えるのう。馬が行くか」

さういはれて、先棒がヒョイと前を見ると、橋の上を提灯が二つ三つ、コツ〱と橋板を踏鳴らす蹄の音が聞える。

「へイ、馬が行きます」

今時分可笑しいといひさうな駕籠屋の口吻だ。

さういへば、時刻はもう餘程遲い。が、月が昇ると見えて、東の空が仄と明るい。

「急げ」

「合點でござんす」

橋を向うへ渡り切つた處で、追ついた。

長七郎、駕籠の垂を上げて提灯の紋どころを見た。

濃墨で、三葉葵の紋、その上に二本の筋の這入つてあるのは、まさしく、紀州家の御用提灯だ。

「駕籠を止めろ」

「へい」

一行を乘り越して、駕籠は路ばたの柳の下におろされた。

庄兵衛は、駕籠屋と一緒に様子を眺めて居る。

長七郎、大刀を取つて横たへながら、ワカ〱と行つて、一行の前に立ち塞がつた。

いふ迄もなく、難波屋から牧野兵庫へ送る賄賂二千兩の道中であつたのだ。

牧野兵庫の悪事と、秋田屋一派の陰謀を武蔵屋庄兵衛から聞いた長七郎。胸に一物、三平太、兵十郎の兩人に命じて、尼ケ崎難波屋の様子を秘密に探らせた結果、今夜二千兩が、ひそかに紀州へ送られることを知つた。

こちらは、難波がかりの面々。大金を抱へての夜道、何事もないやうにと、ビク〱もので進んで居ると、鼻の先へ、立ち現はれた武士の姿。

下郎や馬方はびつくりする。

侍たちは、刀に手をかけた。

「待てッ」

其の手のまゝスックと立つて、長七郎涼しい聲だ。

提灯の灯の中へ浮み出たその姿、くつきりと色の白い、氣高い顔。美男子だけに、一層氣味が惡い。